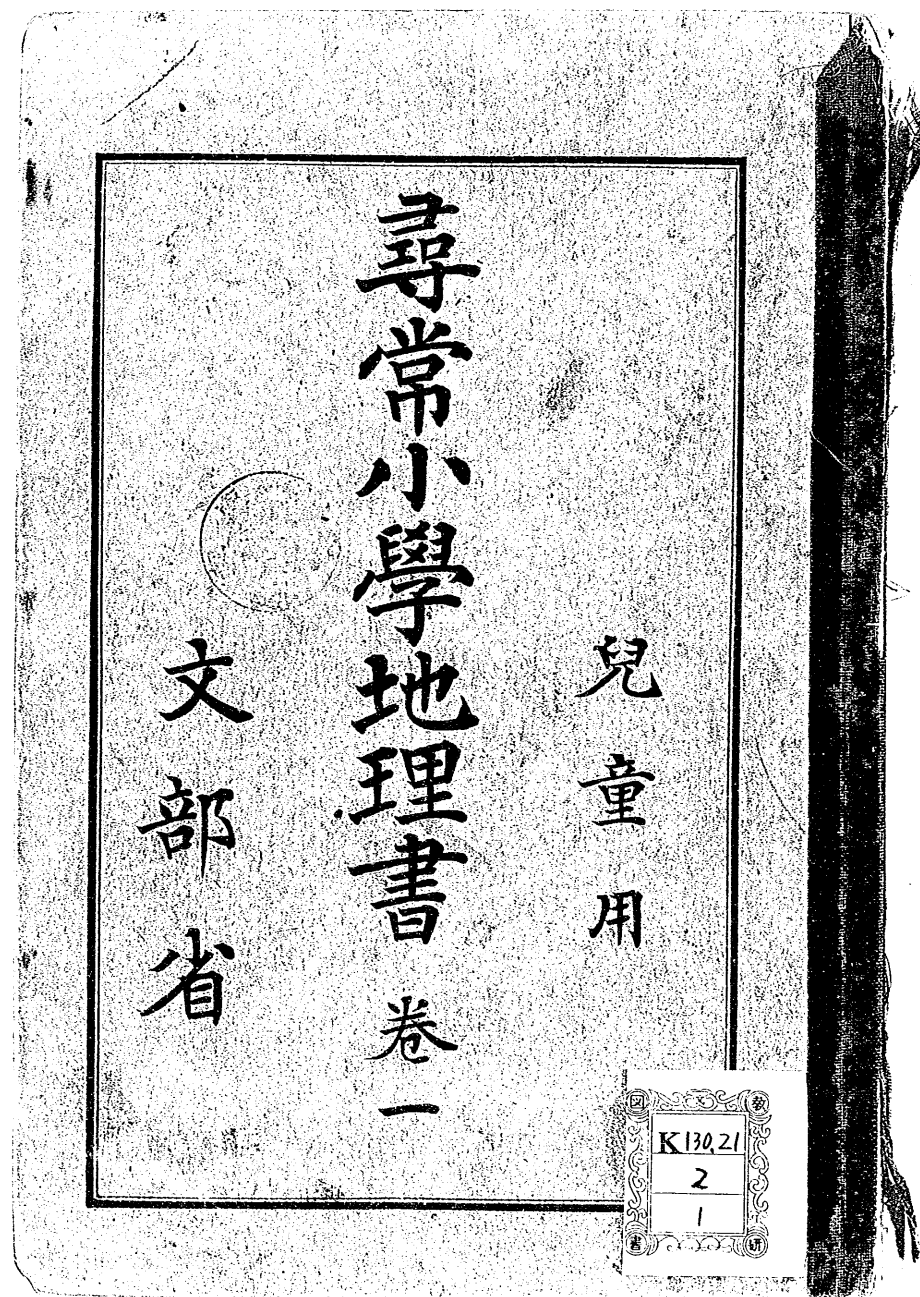




2

D 20





尋常小學地理書 卷一

兒童用

文部省

目録

第一	大日本帝國	一
第二	關東地方	五
一	區分	五
二	地勢	六
三	産業	九
四	交通	十二
五	都邑	十五
六	伊豆七島小笠原諸島	二十一
第三	奥羽地方	二十二
一	區分	二十二
二	地勢	二十三
三	産業	二十六
四	交通	三十
五	都邑	三十一
第四	中部地方	三十四
一	區分	三十四
二	地勢氣候	三十五
三	交通	四十一
四	産業	四十三
五	都邑	四十九
第五	近畿地方	五十五
一	區分	五十五
二	地勢	五十五
三	交通	六十
四	産業	六十二
五	都邑	六十六
第六	中國地方	七十四
一	區分	七十四
二	地勢	七十五
三	産業	七十六
四	交通	七十九
五	都邑	八十
第七	四國地方	八十三
一	區分	八十三
二	地勢	八十四
三	産業	八十五
四	交通	八十七
五	都邑	八十八
附録		一

尋常小學地理書 卷一 兒童用

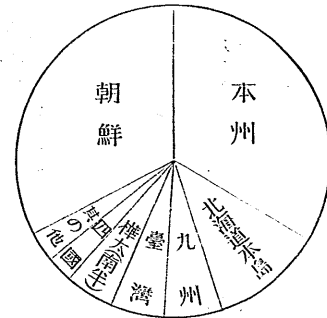
第一 大日本帝國

我が大日本帝國はアジヤ洲の東部に位して、太平洋中にある日本列島と、アジヤ大陸の東部に突出せる朝鮮半島とより成る。

日本列島は大小あまたの島々より成り、東北より西南につらなりて、長さ凡そ一千二百里に及ぶ。列島中の大なるものには、中央に北海道本島、本州、四國、九州ありて、列島の主要部をなし、西南に臺灣あり。

我が國の面積

り、北に樺太(南半)あり。其の小なるものには、是等諸島の附近にあるものの外、九州と臺灣との間につらなりて琉球列島をなせるもの、及び北海道本島の東北につらなりて千島列島をなせるものあり。又本州南方の洋中には小笠原諸島あり。我が國の總面積は四萬三千餘方里。本州と朝鮮とはいづれも總面積の凡そ三分の一を占め、北海道本島臺灣九州樺太(南半)四國之に次ぐ。



面積比較 (附近の島々を含む)

我が國の四周

我が國の氣候國民

我が國はオホーシク海・日本海・黄海・東支那海等へだててロシア領シベリヤと支那とに對し、ことに朝鮮にては、たゞちにシベリヤ及び支那の滿洲につゞき、樺太(南半)にては、北半のロシア領になれり。又我が國の西南にはアメリカ合衆國の領土たるフィリピン群島あり、東方には遠く太平洋をへだてて北アメリカ洲あり。我が國の北部には寒さや、強き所あり、又南部には暑さや、はげしき所あれども、大部は氣候おほむね温和にして、雨量少からず。したがつて我が國

區分

は種々の天産に富み、住民の生活に適し、戸口増加して、國民の總數七千餘萬に上れり。
國民の大多數は大和民族にして、其の數五千四百餘萬に及ぶ。其他朝鮮には約一千六百萬の朝鮮人あり、臺灣には十餘萬の土人と支那より移り住める三百餘萬の支那民族とあり。又北海道にはアイヌ、樺太にはアイヌ其の他の土人あり。民族は相異なれども、ひとしく忠良なる帝國の臣民たり。
本州・四國・九州及び琉球列島等は、全國中のよく開けたる所にして、分ちて三府、四十三縣となし、之を

治むるため府に府廳、縣に縣廳をおく。其他、北海道本島・千島には北海道廳、樺太には樺太廳、朝鮮と臺灣とはおのゝ總督府をおきて、それぐの地方を治めしむ。
我が國は此の外に、支那より滿洲の關東州を租借して、こゝに都督府をおく。

第二 關東地方

一 區分

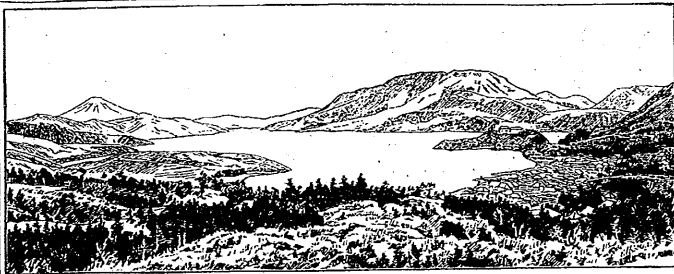
關東地方は本州の東部にありて、東京府と神奈川

千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城の六縣とに分たる。是等の府縣廳は東京府・東京府・横濱市・神奈川県・千葉県・浦和市・前橋市・群馬縣・宇都宮縣・栃木縣・水戸縣・茨城縣にあり。

二 地勢

關東地方は、西部より北部にかけて山岳相つらなり、又南部の二半島に丘陵多けれども、其の他はおほむね平野なり。これ實に我が國第一の大平野にして、關東平野となへらる。河川は多く源を西又は北の山地に發し、ゆるやかに此の平野を流れて、或は太平洋に注ぎ、或は東京灣又は相模

山岳



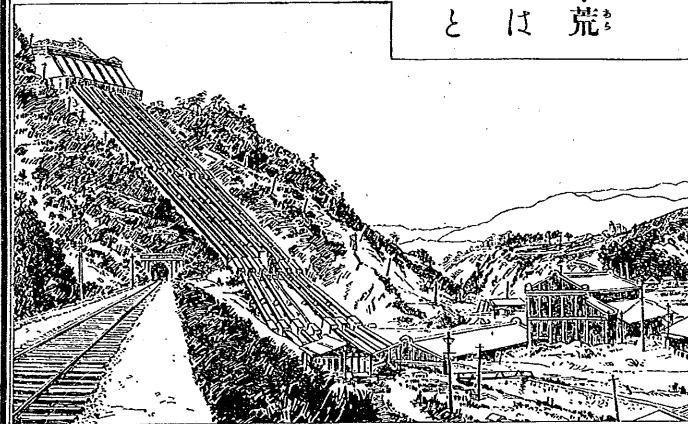
箱根山の一部と富士山

灣に入る。

北部の山地には北に三國山脈あり。其の南に那須火山脈ありて、那須男體赤城榛名等の諸火山平野に接してそびゆ。又西部の山地には富士火山脈に屬する箱根山あり。是等の火山地方は、風景うるはしくして、温泉多ければ、保養遊覽に適する所少からず。中にも塩原縣・日光縣・栃木縣・伊香保縣・群馬縣・箱根縣・神奈

河川・平野

縣川ことに名高し。河川には那珂川利根川荒川相模川等ありて、上流は發電に利用せらるゝこと多く、下流は運輸・灌漑の便少からず。中にも利根川を以て第一とす。其の下流に近く霞浦あり。關東平野は主として是等諸川の流域に屬し、土



(りあに縣梨山)所電發の流上川模相

海岸

地肥え、産業盛にして、交通便利なれば、戸口おのづから密にして、都邑も亦甚だ多し。此の地方の南部には、房總三浦の二半島突出して東京灣をかこめるあり。此の灣の沿岸には商港横濱及び軍港横須賀あり。首府東京も亦同灣の沿岸にあり。

此の他の海岸は出入少く、砂濱長くつらなりて、良港まれなり。相模灣の沿岸と房總半島の海岸とは、氣候温和にして、風景美なるを以て、保養に適せり。

三 産業

農業・工業

關東平野は農業廣く行はれて、米・麥・大豆・野菜等種

種の農産物に富めり。中にも麥は其の産

額の多きこと、くらぶべき地方なし。平野

の東北部よりは葉煙草を産す。

平野の西部・北部と附近の山地とは、養蠶・

製絲の業よく行はれ、群馬・埼玉の兩縣こ

とに盛なり。絹織物の業も亦大いに同地

方に發達して、桐生（群馬縣）・足利（栃木縣）・八王子

府・東京など、機業地として世に知らるゝも

の少からず。

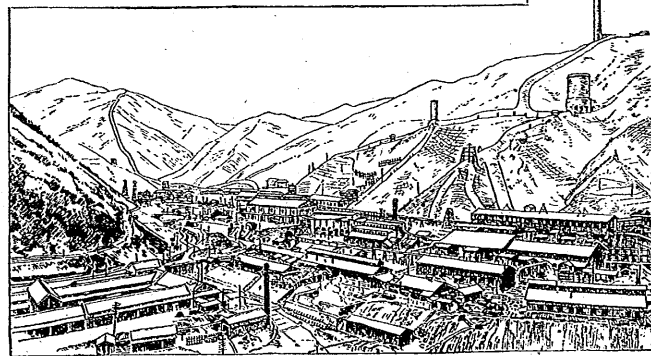
較比額産の麥
外内石萬千三額産年の麥國が我

關東地方	其の他	地方
茨城縣 埼玉縣 群馬縣	栃木縣 群馬縣 埼玉縣	東京府

鑛業

東京・横濱と附近の
地とには數多の大
工場ありて、盛に綿絲・毛織
物・砂糖・肥料・洋紙・船舶など
を製造し、又雜貨を産出す。
したがつて東京・横濱など
の都會には商業亦甚だ盛
なり。

鑛山には日立（茨城縣）・足尾
縣の二大鑛山あり。いづれ



日立鑛山の製鍊所

水産業

も大いなる製鍊所をまうけて、銅を製す。日立鑛山はなほ多く金・銀をも製す。近海には水産の利多く、有名な漁場には九十九里濱あり。東京灣内には海苔を産す。

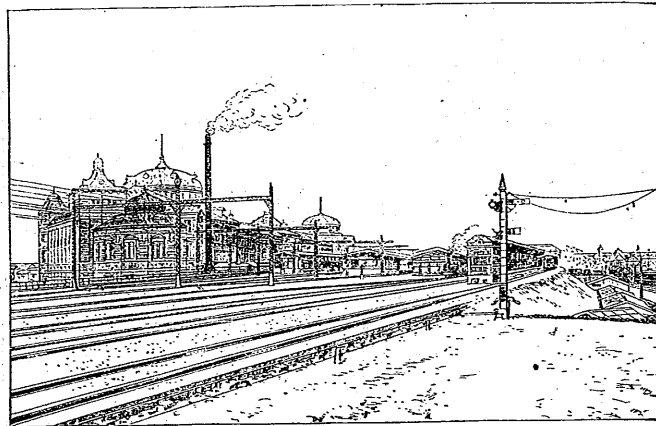
四 交通

關東地方は、東京横濱の如き我が國政治産業の大中心地あるを以て、陸には東京を起點として四方に通ずる鐵



九十九里濱のちびきあみ

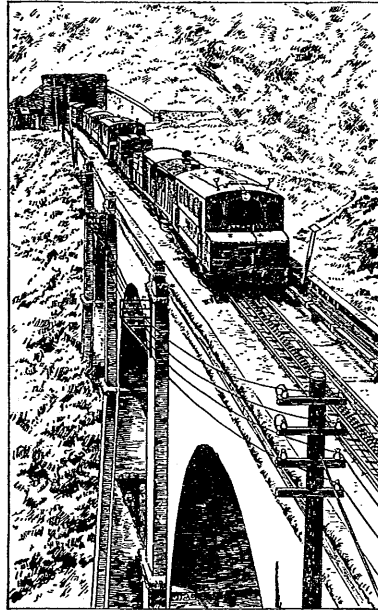
鐵道



東京停車場

道あり、海には横濱を中心として内外諸港に達する航路ありて、汽車汽船の交通甚だしげし、鐵道の中、東海道線は最も重要なものにして、西に向ひ、京都大阪を過ぎ、神戸（近畿地方）に至りて山陽線につらなる。東北線と常磐線とは共に東北

に向ひ、東北線は青森^奥地方^羽に達す。東海道線・山陽線・東北線は相つらなりて本州鐵道の幹線^{かんせん}をなせり。』



碓氷峠の鐵道とネントル

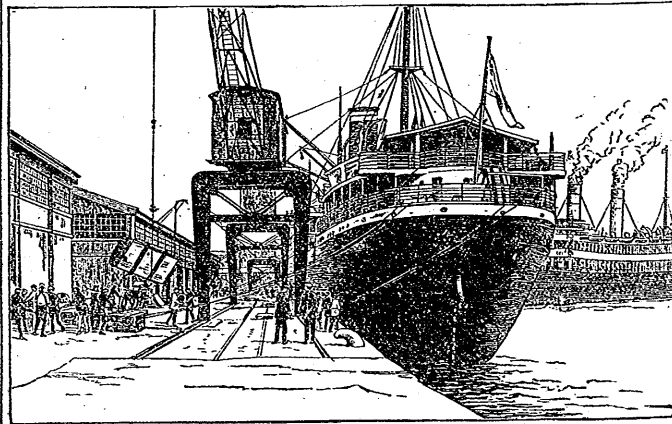
る高崎線、及び之につらなりて新潟^{にひ}地方^{がた}に至る信越線あり。信越線の通ずる碓氷峠^{うすひ}は有名なる險路^{けんろ}

此の他、西の方中部地方の山間をへて、名古屋に至る中央線あり、又西北、高崎縣馬に至

航路

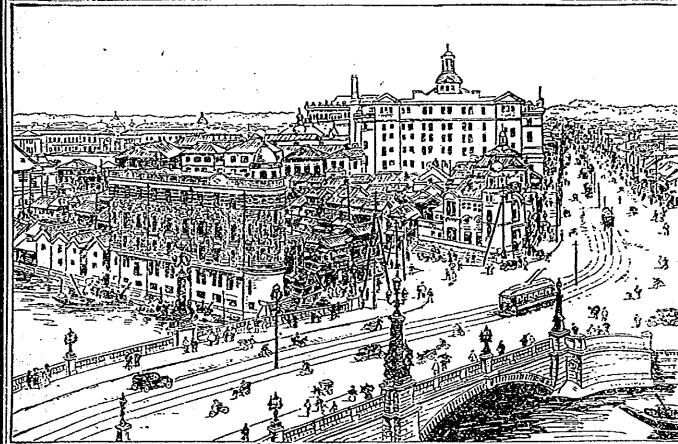
にして、數多のトンネルをうがち、又齒止^{はさどし}のある鐵道を敷けり。外國に至る航路には、東の方太平洋を横ざりて、北米^{べい}・南米^{なん}に至るものあり、又西或は南に向ひて、支那^{しな}・印度^{いन्द}・歐洲^{おーろ}・濠洲^{がう}の諸港に至るものもあり。

五 都邑



横濱港の船岸

東京府



東京市内の日本橋附近

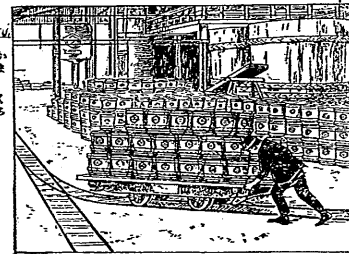
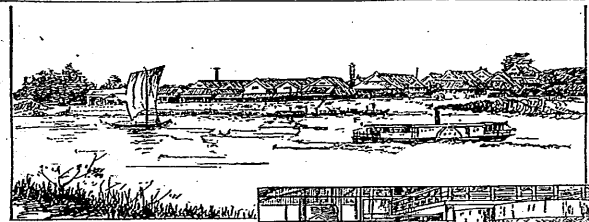
東京は荒川の下流なる隅田川にまたがり、廣さ凡そ五方里、人口二百餘萬を有する我が國第一の大都會にして、政治の中心地たり。宮城は其の中央に位し、附近には諸官省及び帝國議會、議事堂をはじめ、近衛師團第一師團等あり。東京は又

神奈川縣

我が國學術の中心地にして、東京帝國大學、各種の専門の學校、東京帝室博物館、帝國圖書館等あり。其の他、銀行、商店、工場數多くして、商工業はんとやうし、電車じうわうに走り、汽車こゝより各地に通じて、交通甚だ便利なり。社寺には靖國神社、淺草寺、公園には上野、日比谷等あり。

横濱は名高き開港場にして、人口四十餘萬、防波堤、棧橋、繫船岸など、港の設備よくと、のひ内外の汽船しげく出入し、貿易甚だ盛なり。我が國の重要輸出品たる生絲、羽二重は、主としてこゝより積出さ

千葉縣



川戸江と場工油醬の田野

る。又此の地よりは銅を輸出し、鐵線綿等を輸入すること多し。
 横須賀は我が國主要の軍港にして、艦船を建造し、兵器を製造する大工廠あり。其の西北にある鎌倉には歴史上の遺蹟多し。
 江戸川のほとりにある野田は、利根川の河口にのぞめる銚子と共に、醬油の産地なり。千葉の西北にある船橋には

埼玉縣

無線電信局あり。

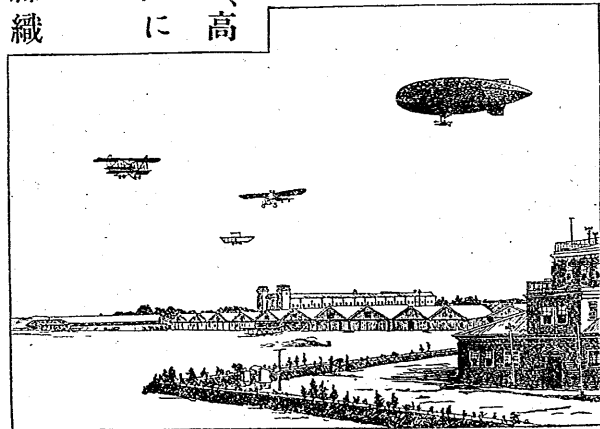
東京の西北にある所澤は陸軍航空隊あるを以て知られ、荒川上流の流域にある秩父の地方は絹織物の産地として名高し。

前橋は生絲繭の取引多く、高崎は交通の要地にして、共に商業盛なり。

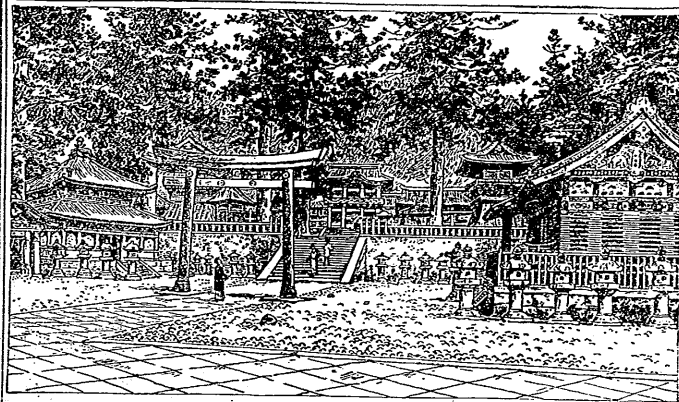
栃木縣

足利の東にある佐野は綿織

陸軍航空隊の所澤飛行場



茨城縣



日光の東照宮

物を産し、宇都宮には第十四師團あり。宇都宮の西北にある日光は、壯麗なる東照宮をはじめとし、景色すぐれたる中禪寺湖・華嚴瀧などありて、自然の美と人工の美とをかね、其の名内外に著る。
那珂川の下流の地に水戸あり、商業の一中心をなす。

六 伊豆七島小笠原諸島

(東京府)

伊豆七島及び小笠原諸島は、相模灣の南方、太平洋中にありて、長く南北につらなり、富士火山脈之を通ぜり。其の近海は水産の利に富む。

伊豆七島の中、大いなるは大島と八丈島とにして、大島に火山の三原山あり。

小笠原諸島は氣候甚だ暖にして、甘蔗を産す。諸島



父島の二見港

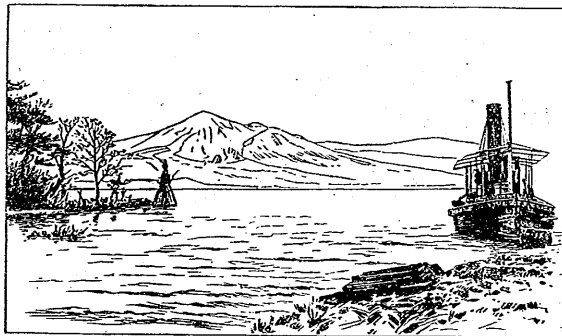
中の主なるものを父島・母島・硫黄島とす。父島の二見港は南方諸島中の良港にして、又太平洋海底電線の中繼所なり。

第三 奥羽地方

一 區分

奥羽地方は本州の東北部を占め、福島・宮城・岩手・青森・秋田・山形に分たる。是等の縣應は福島・青森・秋田・山形にあり。

山岳



磐梯山と猪苗代湖

二 地勢

奥羽地方には南北にわたれる三列の山脈あり。中央にあるを奥羽山脈といひ、中に關東地方よりのび來れる那須火山脈通じて、磐梯山・岩手山等の火山そびゆ。西にあるを出羽丘陵及び越後山脈といふ。是等にも亦一火山脈通じて、岩木山・烏海山

河川

月山等の之に屬するものあり。東部にある山脈は仙臺平野によりて南北に分たれ、北にあるを北上山脈といひ、南にあるを阿武隈山脈といふ。いづれも其の高さ大ならず。

奥羽山脈は日本海方面と太平洋方面との分水嶺にして、東西兩列の山脈との間に細長き平野をはさむ。されば主なる河川は此の平野を流れ



山月りよ近附の形山

海岸

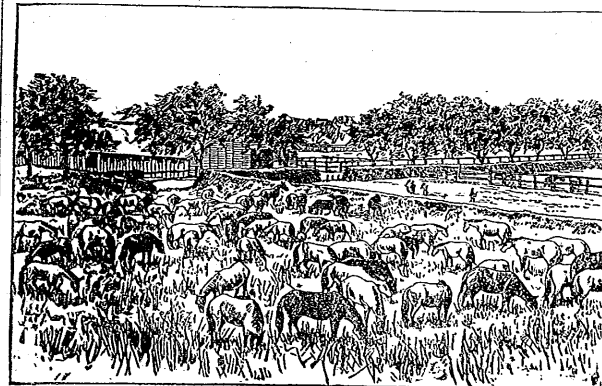
て、北上阿武隈の二川は太平洋に注ぎ、米代雄物最上阿賀の諸川は日本海に入る。是等の諸川に沿へる地は、本地方中のよく開けたる所にして、交通の要路に當り、都邑少からず。

太平洋海岸の中部には小出入多く、天然の港灣少からざれども、北上山脈たゞちに海岸にせまりて、土地けはしく、産業未だ十分に發達せずして、其の利用盛ならず。日本海の海岸は、中央に男鹿半島突出して八郎潟をかこめる外、屈曲少く、砂濱長くつらなりて、良港にとぼし。北部には下北津輕の兩半

島ありて、陸奥灣をかこむ。此の灣の沿岸に商港の青森と海軍要港の大湊とあり。

三 産業

此の地方は關東地方にくらぶれば氣温低く、山地原野多きが故に、土地の廣き割合に農産物少く、戸口亦密ならず。されど原野には所々に牧畜行はれ、鑛業・林



奥羽地方の一牧場（福島縣白河附近にあり）

農業・工業

業亦各地に盛なり。

此の地方の主なる平野には、米・大豆・馬鈴薯・蘋果を産す。米は最上川及び雄物川の流域の平野を主産地とし、最上川の河口にのぞめる酒田（山形縣）を主なる集散地となす。蘋果と馬鈴薯とは、青森縣において産額最も多し。

阿武隈川の流域と最上川の上流地方とには、養蠶業よく行はれて、生絲・絹織物の産出多し。福島附近の地は其の主産地なり。阿賀川の水源地たる猪苗代湖は、灌漑にも發電にも利用せられ、其の附近の地

牧畜

には電気工業次第におこれり。

牧畜は馬の飼養を主とす。ことに岩手、

福島、の二縣に盛に

して、盛岡と白河、

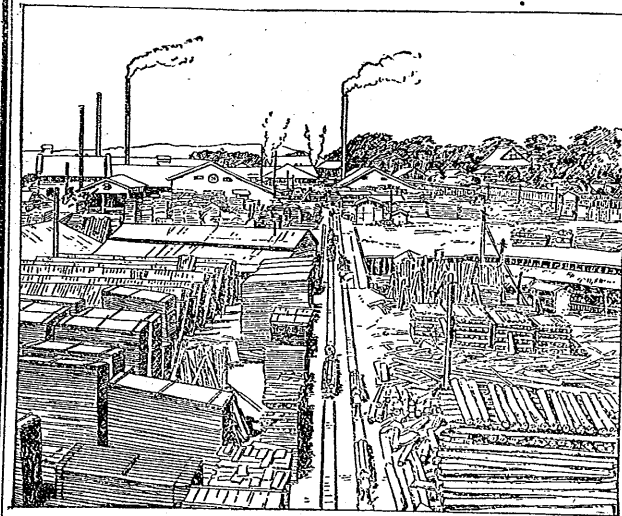
縣とには、秋季に馬

の大市あり。

米代川の流域には

杉の大森林ありて、

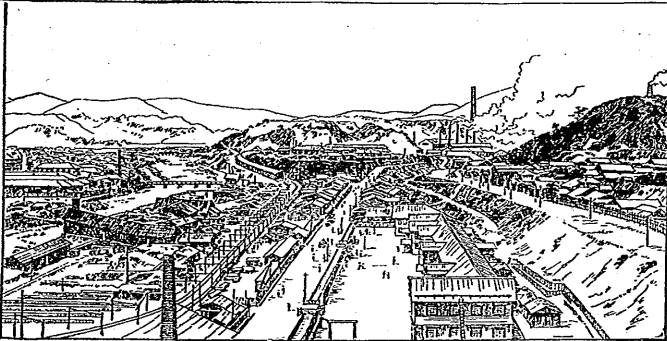
多く木材を産し、河



能代港に於ける製材所

林業

鐵業



小坂鐵山

口に近き能代港、秋田縣には製材の業盛なり。

奥羽地方は諸種の鐵産物に富めり。米代川の流域と雄物川の流域とには、銅、銀を産する鐵山多し。中にも小坂、秋田縣

は我が國屈指の鐵山なり。又

釜石、岩手縣附近には鐵を出し、

雄物川下流地方には石油、平

福島縣附近には石炭を産す。

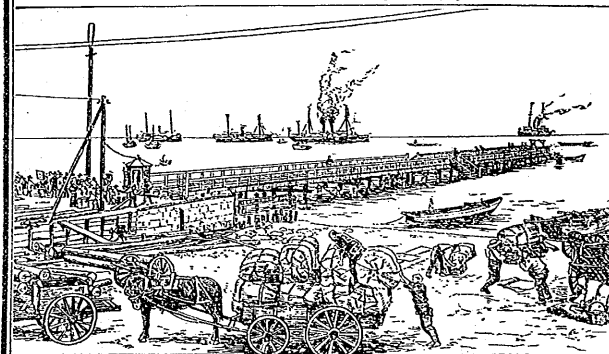
水産業

太平洋方面の近海・遠洋には水産の利少からず。

鐵道

四 交通

此の地方を南北に走れる鐵道線路は、おほむね主なる河川の沿岸の平野をつらぬけり。本州鐵道幹線の一部なる東北線は、阿武隈川下流の地にて常磐線と會し、北上川に沿ひて青森に至る。奥羽線は福島に起り、ほゞ日本海方面



青森港と鐵道連絡船

海上の交通

の諸川に沿ひて、亦青森に達す。青森と函館本北海道との間には鐵道連絡船ありて、是等の鐵道と北海道の鐵道との連絡をなす。又此の地方を東西に横ざれる鐵道には、平より新潟地方部に至るもの、石巻宮城より酒田に至るものなどあり。陸上の交通はかくの如く便利なれども、海上の交通は良港少くして、未だ不便をまぬかれず。ことに日本海の海岸は冬季風波にさまたげらるゝこと少からず。

五 都邑

福島縣

宮城縣



松島灣の部一

福島は生絲繭羽二重を集散すること多し。阿賀川上流の流域に會津盆地あり。若松は此の盆地の中心都市にして、漆器を産す。

仙臺は奥羽第一の都會にして、人口十萬。こゝに東北帝國大學第二師團あり。其の東北の松島灣には大小數多の島島散點し、青松をいたゞきて、

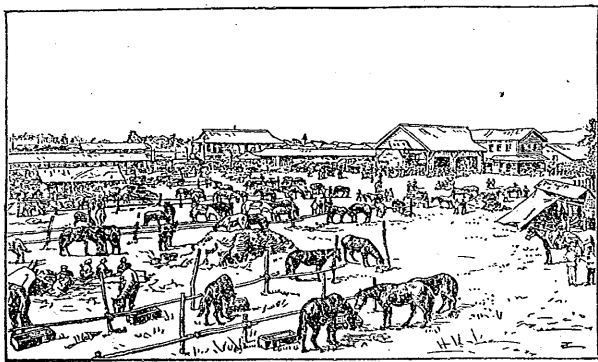
岩手縣

青森縣

風景甚だ美なり。

盛岡は北上川上流流域の中心都市をなし、附近の地には馬の牧養盛なり。

青森は海陸交通の要地にして、東京より汽車にて凡そ十七時間にして達すべし。其の西南にある弘前は第八師團の所在地なり。弘前の附近には多く苹果を産出す。



盛岡の馬市

秋田縣

秋田は雄物川の下流にのぞみて、主要なる商工業地をなす。

山形縣

最上川の上流地方に山形・米澤の二都會あり。山形は商業はんじやうし、米澤は絹織物業盛なり。

第四 中部地方

一 區分

中部地方は本州の中部を占めて、静岡・愛知・岐阜・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井の九縣に分たる。是等の縣廳は静岡・名古屋・岐阜・甲府・梨長

野長野縣・新潟新潟縣・富山富山縣・金澤石川縣・福井福井縣にあり。

二 地勢・氣候

此の地方は本州の最も廣き所を占め、地勢甚だ高くしてけはしく、數條の大山脈ほ、南北に走りて相ならべり。幾多の大河は之に沿ひて、太平洋又は日本海に向ふ。是等の諸川はおほむれ流、急にして、舟運の便多からず。されど其の下流の海岸地方には平野よく開けて、産業も交通も發達し、都邑も亦すこぶる多し。

地勢

山脈

飛驒山脈

飛驒山脈は此の地方の中央にありて、鎗岳・白馬岳などの高峯はしくそびだち、なほ又御岳・乗鞍岳等の火山高くそびえて、雄大なること本州に冠たり。此の山脈の西には飛驒高地横たはり、東南には木曾・赤石の兩山脈相ならびてつらなれり。

又此の地方の東部には富士火山脈の横されるありて、遠く伊豆七島及び其の



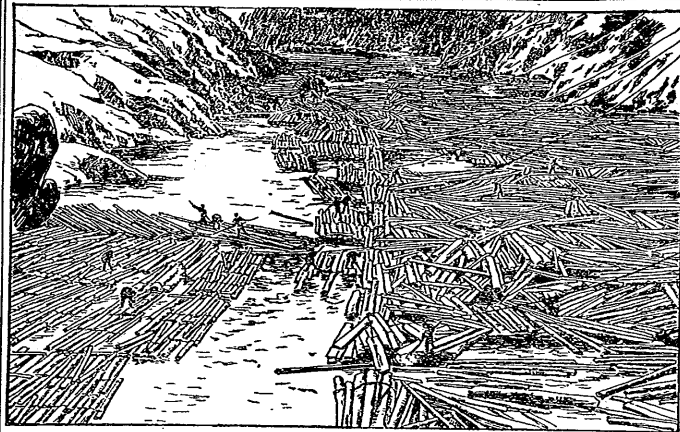
鎗岳

三十九
三十六



南方の諸島につらなれり。此の火山脈の主峯は即ち富士山にして、我が國第一の名山たり。其の高さ凡そ一萬二千五百尺に達す。なほ火山には、此の地方の東の境にありて噴煙のやまざる淺間山、飛驒高地の西にそびゆる白山など、有名なものにとほしからず。

野河川・平

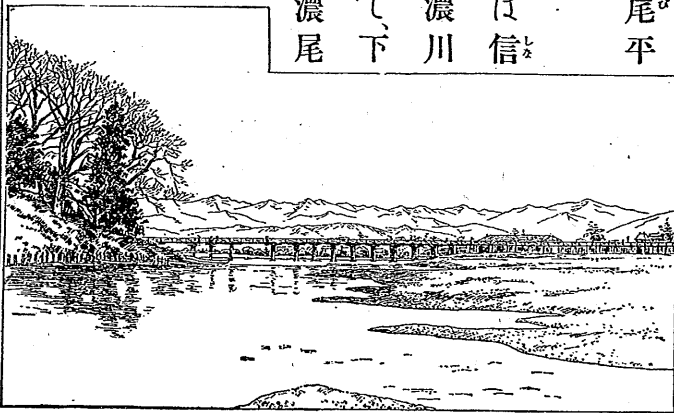


木曾川の運材

以上の諸山脈にはさまれたる地はいづれも大なる谷をなし、木曾川、天龍川をはじめとし、大井川、富士川等之を流れて、或はたゞちに太平洋に注ぎ、或は伊勢海又は駿河灣に入る。中にも木曾川は、飛驒高地より來れる長良川其の他の諸

海岸

川と共に、下流地方に濃尾平野を作る。又日本海に入るものには信濃川、神通川などあり。信濃川は本州第一の大河にして、下流地方に越後平野あり。濃尾平野と越後平野とは我が國屈指の大平野なり。太平洋の海岸には、東に伊豆半島ありて、風光美



神通川と富士山

麗なる駿河灣の東をかぎり、西に知多半島ありて、三河灣と伊勢海とを分つ。駿河灣の沿岸に清水港清水港、静岡縣、伊勢海の沿岸に名古屋港あり。

日本海の海岸には西南に若狹灣あり。其の海岸は小出入多く、中に敦賀敦賀縣の良港あり。其の他の海岸は中央部に能登半島突出し、其の東に富山灣の灣入せる外、出入甚だ少く、一般に砂濱多くして、自然の良港にとぼし。新潟伏木伏木縣富山の二港の如きも、河口を利用せるに過ぎず。中部地方には島嶼極めて少く、大なるものは日本海に佐渡島あるのみ。

氣候

鐵道

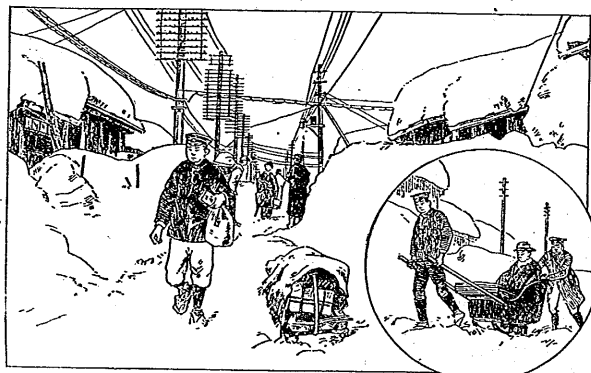
太平洋方面は氣候温和にして、夏季雨多く、日本海方面は冬季雪深し。中央部は



土地高ければ、海岸地方にくらべて、冬季は寒氣一層強し。

三 交通

此の地方は高山急流多けれども、其の位置本州の



(田高の縣新潟) 通交の中雪と雪積の面方海本日

中部を占むるを以て、古來重要な街道の通ぜるあり。鐵道ほゞ之に沿ひて次第に開け、太平洋岸には東海道線あり、中央部には中央線及び信越線あり。信越線は北陸線とつらなり、共に日本海岸を走れり。中央線の笹子峠には我が國第一の長きトンネルあり。

海上の交通

太平洋方面は海運の便大いに開けて、清水名古屋の二港には外國航路の汽船も出入す、日本海方面は良港少く、ことに冬季には風波のため、交通のさまたげらるゝこと少からず。されど敦賀よりはシ

ベリヤの浦潮斯德に至る定期航海の汽船ありて、シベリヤ鐵道と連絡す。此の間凡そ四十時間の航程なり。

四 産業

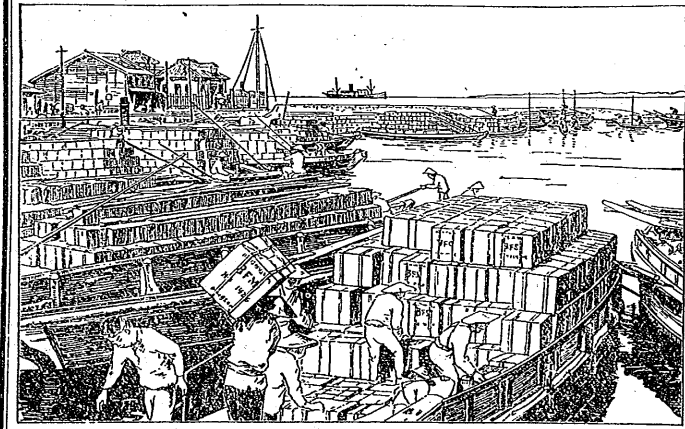
大河の下流地方と海岸の地方とに、産業の盛なるはいふまでもなし。中央部の山地といへども、所々に小



敦 賀 港

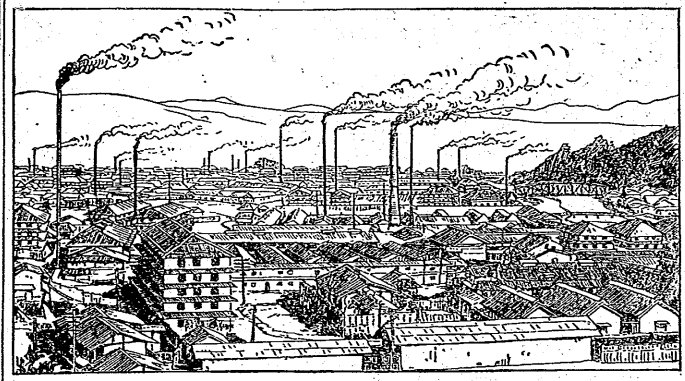
農業

平野ありて、産業亦よく行はる。
濃尾・越後等の諸平野は、我が國における米の主産地にして、濃尾平野は亦麥・野菜等の産出にも富む。静岡縣には茶・蜜柑の栽培よく行はれて、製茶は多く清水港よりアメリカ合衆國に輸出せ



し出積の茶るけおに港水清

工業



場工絲製の畔湖訪諏

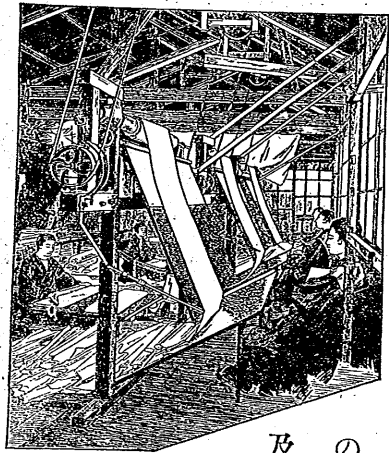
中部地方には養蠶の業一般に盛にして、ことに長野・愛知の兩縣には、繭の産額極めて多し。
製絲の業も亦したがって盛にして、ことに長野縣は諏訪湖畔の如き

較比額産の繭
石萬百四約額産年の繭國が我

中部地方		其の他の地方	

其の大中心あるを以て、生絲の産額の多きこと、遙かに他の府縣を越ゆ。絹織物業は日本海沿岸の諸縣にあまねく行はれて、福井石川の二縣には、我が

福井の輸出羽二重検査所



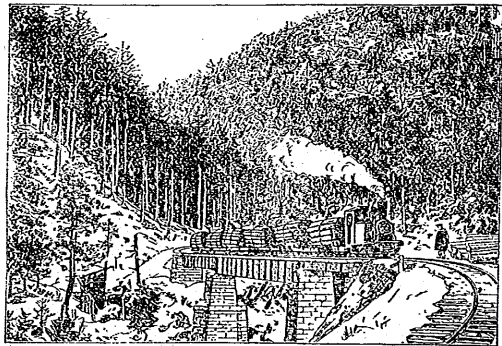
國の重要輸出品たる羽二重の製造最も盛なり、名古屋及び其の附近の地は諸種の工業盛にして、綿織物時計、陶器等の産出多し。陶器は亦瀬戸愛知縣、多治見岐阜縣、金澤等にも産す。

林業

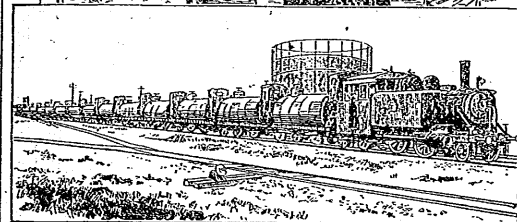
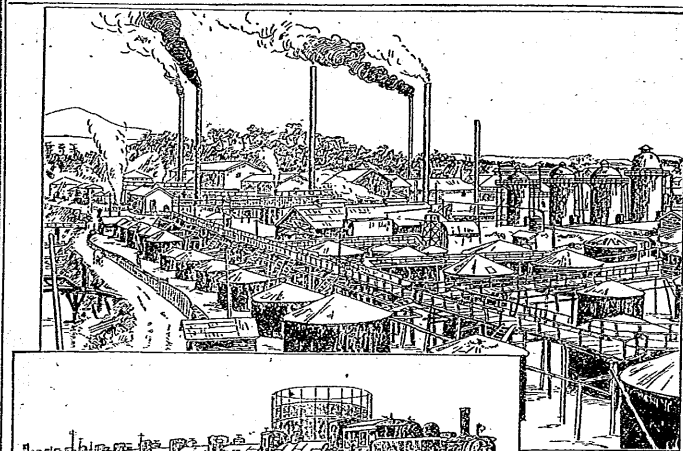
鑛業

其の他、静岡輪島石川縣等よりは漆器を出す。富士山の裾野なる大宮静岡縣附近には數多の工場ありて、水力を利用して盛に洋紙を製造す。

林業にて最も名高き所は、木曾川上流の流域にある木曾谷なり。こゝには檜ひのき其の他の良材多く、鐵道又は木曾川によりて之を各地に輸送す。信濃川の下流地方は我が國



道鐵林森と林森の曾木



柏崎の製油所と石油運ぶ列車

石油の主産地にして、いたる所に油井多く、柏崎かしはさき新潟新潟に大なる製油所あり。長岡ながおか新潟新潟も石油業の中心地たり。其の他、佐渡さど新潟新潟は古來金の産出を以て著れ、神岡かみおか山山早岐さきは近來盛に亞

水産業

鉛・鉛銀等を出せり。

近海は一般に水産物に富み、ことに太平洋方面に著し。静岡縣よりは多く鯉節こっせつを産す。

五 都邑

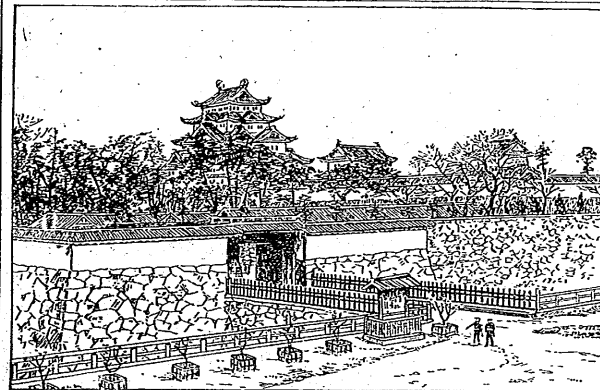
沿海地方はことに都邑多く、中央部の山間にも亦都邑少からず。

伊豆半島には熱海あつみ修善寺しゆぜんじなどの温泉場多く、駿河灣の沿岸には保養に適する所少からず。駿河灣沿岸の平野にある静岡は茶の精製及び其の取引盛にして、濱名湖はみなみこの東にある濱松は綿織物・樂器等を

静岡縣

愛知縣

産す。



名古屋城

濱松より名古屋に至る間に豊橋・岡崎の二都會あり。いづれも製絲業盛にして、豊橋には第十五師團あり。名古屋は中部地方第一の都會にして、人口四十七萬、我が國商工業の一大中心たると共に、交通線路の一集中點たり。こゝに熱田

岐阜縣

神宮第三師團、及び金の鯰にて名高き名古屋城等あり。

岐阜と大垣とは濃尾平野の西北部にある主要なる都會にして、岐阜の附近なる長良川は鵜飼によりて名高く、大垣の西南には養老瀧の名勝あり。飛驒高地の高山は山間の小盆地にありて、此の高地の中心市場たり。

富士川の上流の地方に甲府盆地あり。甲府は此の



長良川の鵜飼

山梨縣

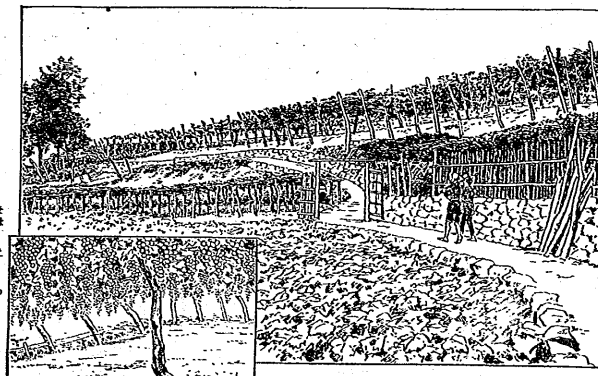
長野縣

盆地の商業の中心地にして、其の東には葡萄の産地あり。

信濃川上流地方の平地には松本・長野等の都會あり。松本には繭生絲の取引行はれ、長野は善光寺を以て名高し。

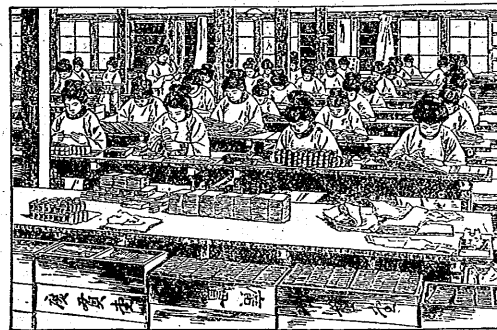
新潟縣

新潟は信濃川の河口にのぞめる港市にして、商工業の要地なり。直江津は鐵



國葡萄るあに東の府甲

富山縣



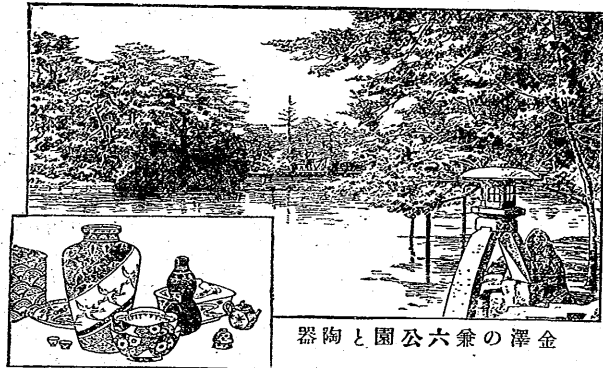
部一の内場工業製るあに山富

道の信越線と北陸線との會する所にして、其の南にある高田には第十三師團あり。神通川の下流にのぞめる富山は古來賣藥の製造を以て知らる。其の西方にある高岡は銅器を産し、富山灣の要港なる伏木は米を積出すこと

石川縣

金澤は人口十餘萬、日本海方面第一の都會にして、

福井縣



金澤の兼六園と陶器

諸種の工業品を産すること多し。こゝに第九師團あり。能登半島の東海岸には七尾港あり。
福井及び附近の都邑は輸出羽二重の産出最も多き所なり。福井に藤島神社あり、新田義貞を祀る。敦賀は古來日本海方面の名高き港なり。

第五 近畿地方

一 區分

近畿地方は中部地方の西につゞきて、京都・大阪の二府と滋賀・兵庫・奈良・和歌山・三重の五縣とに分たる。是等の府縣廳は大津縣・滋賀縣・京都府・大阪府・神戸縣・兵庫縣・奈良縣・和歌山縣・津縣・三重にあり。

二 地勢

此の地方は地勢おのづから三部に分れ、西北部と南部とはいづれも山地をなし、其の間の中央部には平地多し。

西北部

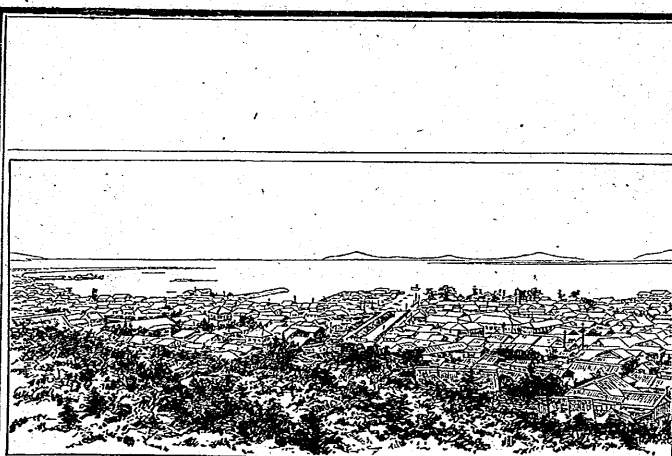
西北部の山地は中國山脈（みやく）の東部にして、高原狀（へいろう）をなし、山の著しく高さものなく、河の大いなるものなし。

南部

南部は地勢けはしくして、紀伊山脈東西に走り、山上岳（じやうがくだり）・大臺原山（だいがはら）等其の中にそびゆ。河流はおほむね此の山脈に發し、南に流れて熊野川となるあり、西に流れて紀の川となるもあり。

中央部

中央部には數條の小山脈南北に走り、中に金剛山（こんがう）・笠置山（かさぎ）等の歴史に名高き山あり。中央部の平地は是等の山脈によりて、近江京都奈良等の盆地（ぼんち）と大



琵琶湖と大津

阪伊勢等の平野とに分たる。伊勢平野は北にのびて濃尾平野（のうび）につらなり、大阪平野は西にのびて播磨灘（はりなだ）沿岸の平野にせまれり。

近江盆地にある琵琶湖は我が國第一の大湖にして、灌漑運輸（かんがい）の便多く、又水産の利あり。湖畔（はん）には名勝の地少からず。湖の水は西南に流れ出でて淀川とな

り、京都盆地大阪平野を過ぎて大阪灣に注ぎ、又別に疏水運河となりて京都に至る。共に灌漑運輸發電に利用せらる。

中央部の平地は神武天皇以來、御歴代の天皇の多く都を定め給ひし所にして、史蹟も多く、産業も發達し、又交通便利にして、都邑甚だ多し。

太平洋岸と若狹灣岸とには小出入多く、若狹灣には舞鶴軍港あり。其の西となれる宮津灣には、一條の砂洲長く横たはりて、青松をいたゞき、いはゆる天橋立の勝地をなせり。

海岸



橋立

中央部の東には伊勢海灣入して、四日市港之にのみ、西には大阪灣灣入して、大阪神戸の二大商港之に面す。
大阪灣と播磨灘との間には淡路島ありて、本州及び四國との間に明石紀淡鳴門の三海峡をはさむ。明石紀淡の兩海峡は船舶の往

來たゆることなく、鳴門海峡は潮流の急なるが故に其の名著る。

三 交通

此の地方は關東地方と共に、我が國にて最も交通の發達せる所にして、大阪京都には鐵道四方より來り集り、神戸大阪よりは航路内外の諸港に通ず。

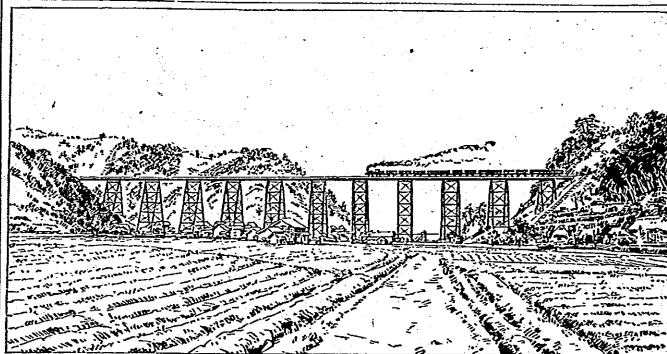
鐵道



四國の海岸より望める鳴門海峡

鐵道には本州の幹線たる東海道線・山陽線をほじ

航路



山陰線の高架橋

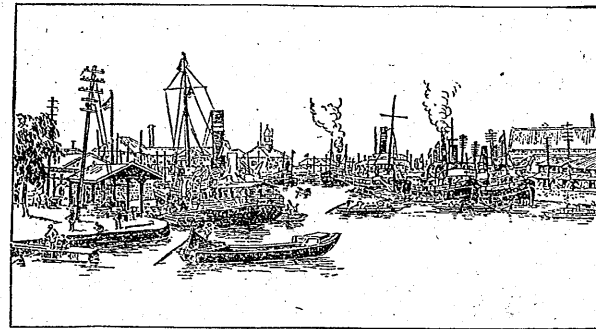
め、關西線・山陰線等あり。關西線は大阪より奈良を過ぎ、名古屋に至りて東海道線に合し、山陰線は京都に起り、西北部の山地をへて、中國地方の日本海岸を走る。神戸・大阪の二港は内には瀬戸内海、其の他近海航路の起點となり、外には支那・印度等をほじめとし、遠く歐米及び

濠洲等の諸港に航路を通ぜ
るを以て、商船の出入極めて
しげし。

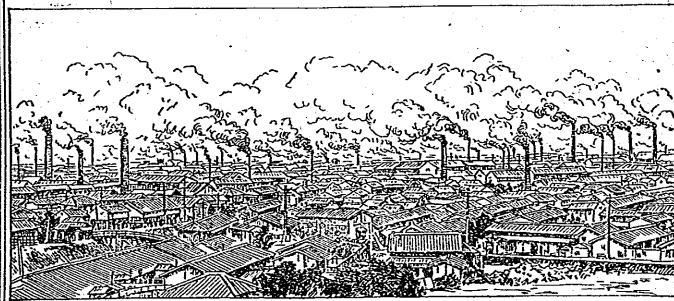
四 産業

平地は米・麥・茶・桑種などの農
産物に富み、又諸種の工業も
極めて盛にして、商業も大い
に發達せり。中にも大阪灣沿
岸の地方は我が國の一大工
業地區をなし、其の中心地たる大阪にはいたる所

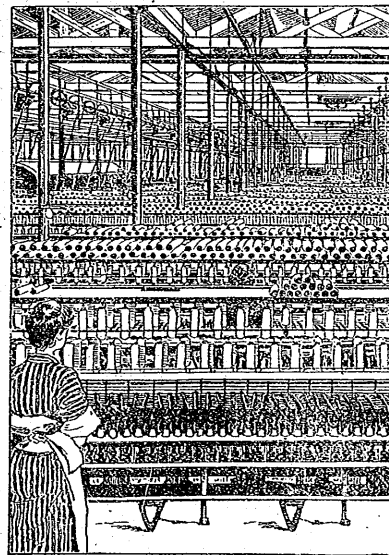
農業・商業・
工業



淀川の下の流



大阪市内の工場 (上) 大阪の工場内 (下)

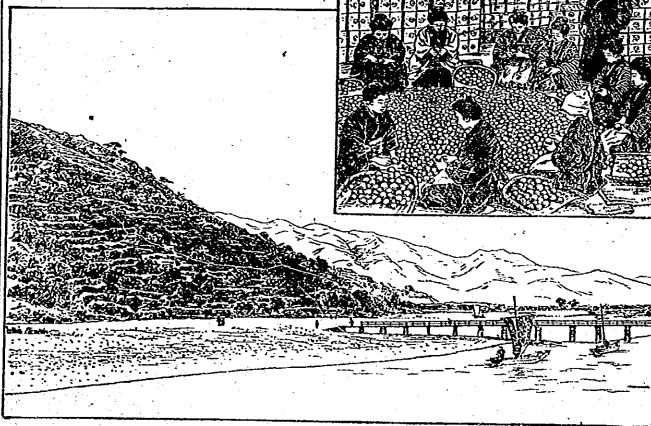


に大工場ありて、煙突林立し、煤
煙常に空にみなぎる。主なる工
業品は綿・絲・綿織物・メリヤスを
はじめ、マツチ・肥料・薬品及び船

A detailed black and white line drawing of a large industrial factory complex. The factory consists of several interconnected buildings with multiple windows and doors. Two prominent tall chimneys are visible, each emitting thick, billowing clouds of smoke that drift across the sky. In the foreground, there is a body of water, possibly a river or a harbor, with a wooden pier or dock structure extending from the bottom edge of the frame. The background shows rolling hills or mountains under a clear sky. The entire scene is enclosed within a simple rectangular border.

綿絲產額比較
我國綿絲年產額約九千萬貫

	大阪府	兵庫縣	其の他 の府縣	
近畿地方	地方	其他の地方		



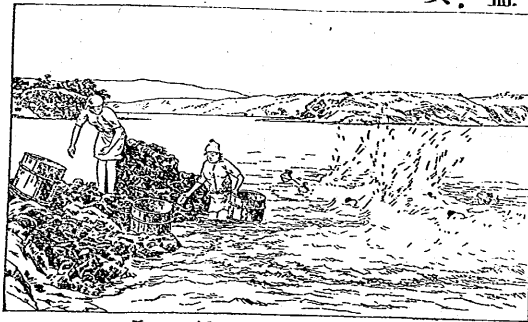
け分りよの柑蜜と畑柑蜜の岸沿川田有

水産業

水産業は紀伊半島の近海に盛にして、志摩半島の沿海には眞珠の養殖行はる。

五 都邑

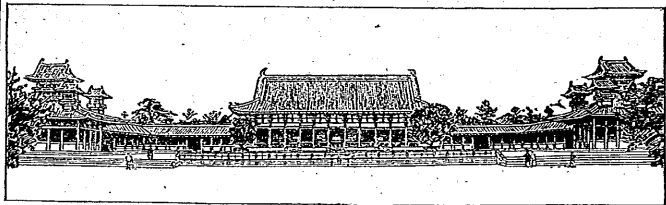
琵琶湖東岸の平野には彦根及び長濱あり。長濱は縮緬の産地なり。又平野の南部には麻織物を産する所少からず。湖の西南岸にある大津は湖上航路の起點にして、其の西北、比叡山には名高き延暦寺あり。



真珠の採取

滋賀縣

京都府



平安神宮

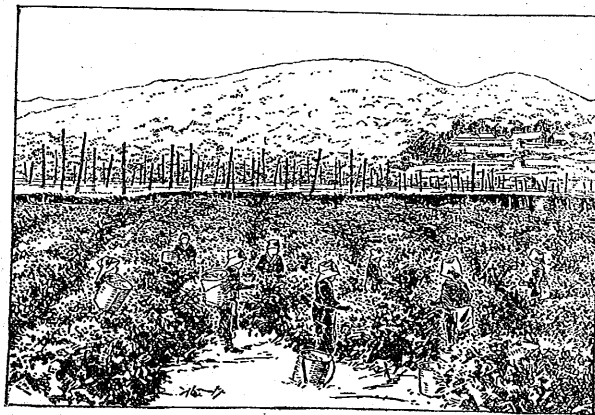
京都府は京都盆地の北部に位し、東京を距ること汽車にて凡そ十一時間の行程にあり。淀川の支流、賀茂川之を貫流す。此の地は桓武天皇以來の帝都にして、人口約六十萬、京都御所、二條離宮等あり。其の他、平安神宮、北野神社、知恩院、本願寺等の有名なる社寺及び名所舊蹟甚だ多し。又京都帝國大學、京都帝室博物館などあり。て、學術の一中心をなし、美術工藝品

大阪府

の製作にては我が國第一と稱せらる。こゝに第十六師團あり。

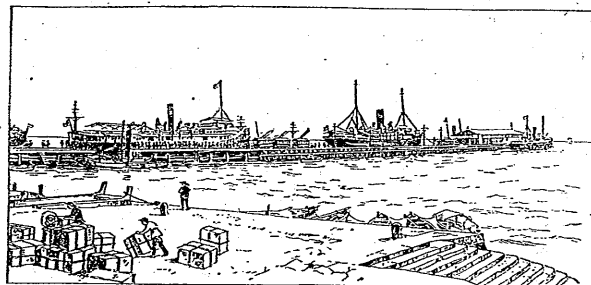
京都の南なる桃山には明治天皇昭憲皇太后の御陵あり。其の附近の地には多く茶を産し、宇治茶と稱して世に知らる。

大阪は淀川の下流にまたがれる港市にして、人口凡そ百五十萬、我が國第

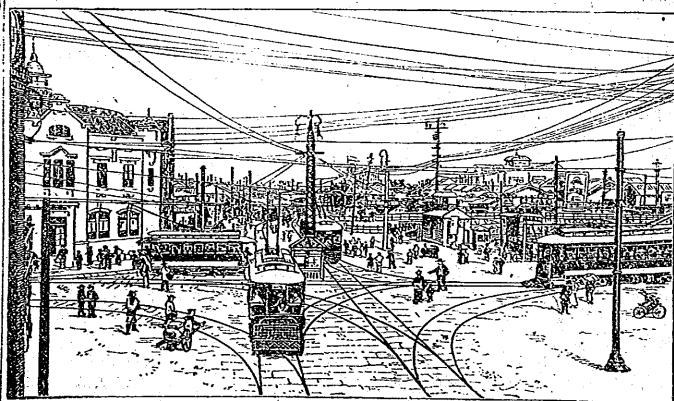


宇治の茶摘

大阪港の棧橋



二の大都會なり。此の地は古來我が國商業交通の一大中心地をなし、今は亦一大工業地となれ

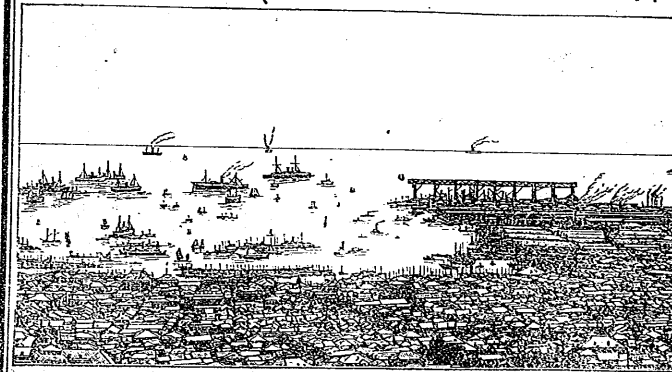


大阪市の第一

兵庫縣

り。名高き大阪城には第四師團をおく。大阪の南には工業地たる堺あり。

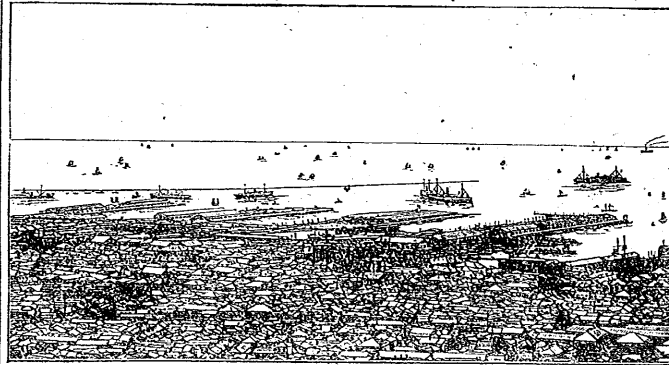
大阪より西方神戸に至る間には工業地たる尼崎及び清酒の産地等ありて、都邑相つらなれり。神戸は人口五十萬、横濱とならび稱せらるゝ大開港場にして、港の設備よく整ひ、船舶の出入は横濱より



神戸港

も多し。此の地は多く繰綿鐵等を輸入し、綿絲・綿織物・銅等を輸出す。工業亦盛にして、壯大なる造船所をはじめとし、紡績・麥粉・マツチなどの工場甚だ多し。此の地に湊川神社あり、楠木正成を祀る。

神戸の西方、明石海峡の沿岸は、白砂青松の風光甚だ美なり。播磨灘沿岸の平野には第



神戸港

奈良縣



十師團の所在地たる姫路あり、其の北方の生野鑛山は銅銀を出し、西方の赤穂は塩を産す。

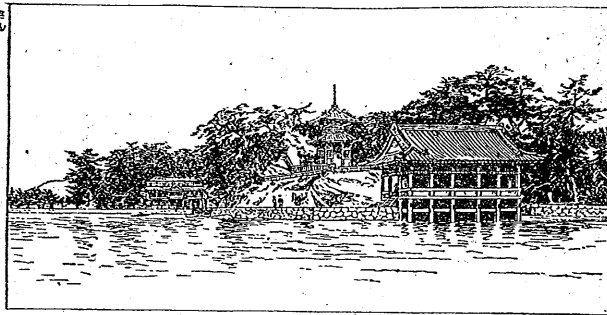
奈良は奈良盆地の中心都市をなし、奈良時代七十餘年間の帝都たりし所にして、正倉院奈良帝室博物館春日神社東大寺などあり。奈良盆地にはなほ神武天皇陵橿原

春日神社

和歌山縣

神宮・法隆寺などあり。紀の川の上流に沿へる吉野は後醍醐天皇の行宮を定め給ひし所にし、櫻の名所なり。

吉野の西南には高野山の靈場あり。紀の川の河口にのぞめる和歌山は綿ネルを産す。其の南には和歌浦の勝地及び漆器の產地たる黒江あり。熊野川の河口にのぞめる新宮は木材の集散地にして、其の西



和歌浦

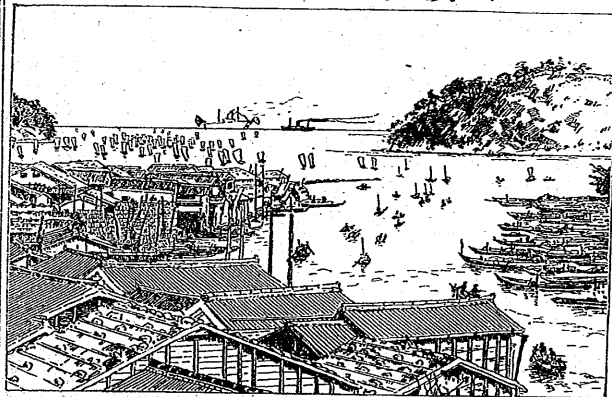
小平野開く。此の方面の海岸は波靜かなる瀬戸内海に沿ひて、港灣・島嶼に富む。日本海方面は江川の外、河流おほむね短くして、平地少し。此の方面の海岸は日本海に沿ひ、中央に島根半島突出して、中海・宍道湖をいだける外は、出入にとほしく、島には隠岐あるのみ。又瀬戸内海方面は氣候温和にして、雨雪少く、日本海方面は冬季雨雪多く、又海上風波荒し、されば瀬戸内海方面は日本海方面にくらべて、産業進み、交通も便利にして、都邑・良港多し。

三 産業

農業・牧畜

水産業

日本海方面は農業・牧畜を主とし、瀬戸内海方面はなほ亦商工業も盛なり。農産物の中、米は多く瀬戸内海方面に産す。牧畜は廣く山地に行はれて、牛の飼養を主とし、廣島・岡山の二縣ことに盛なり。沿海地方の住民は漁業に従事し、朝鮮近海に出漁する者も少からず。水産物の



船釣かいの岐隠

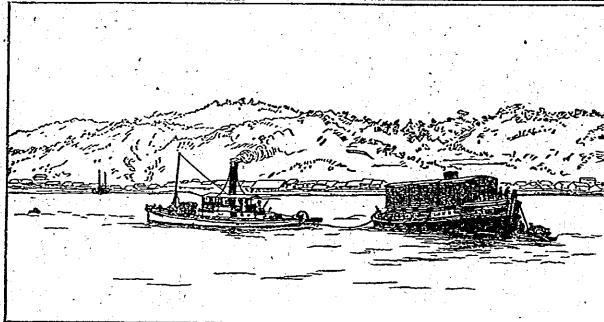
工業・鑛業



岡山附近の花菱の荷造り

中、産額の最も多きは山口縣の鯛にして、島根縣の鰯、廣島灣の牡蠣も其の名著る。瀬戸内海沿岸の砂濱は製塩業に適し、三田尻山口縣の附近、兒島半島岡山縣などには塩田ことに多し。岡山・福山廣島縣など、瀬戸内海沿岸の各地には工業盛にして、綿絲綿織物・疊表・花菱等の産出あり。鑛産物は岡山縣の銅を主なるものとす。

瀬戸内海方面の交通



下關海峡に於て貨車を運ぶ船

四 交通

瀬戸内海の沿岸には山陽線東西に走りて、本州鐵道幹線の一部をなせり。其の西端に當れる下關山口縣より是对岸の門司九州又は釜山朝鮮に至る連絡船ありて、山陽線と九州及び朝鮮の鐵道とに連絡す。山陽線の一支線の終點なる宇野岡山縣と高松四國との間にも、鐵道連絡船の往來

日本海方面
の交通

あり。瀬戸内海は海上の交通しげく、其の沿岸には
下關^{うすく}宇品^{うすく}の廣島^{ひろしま}尾道^{おのみち}縣^{ごう}廣島^{ひろしま}縣^{ごう}絲崎^{いとさき}縣^{ごう}廣島^{ひろしま}縣^{ごう}等の港少からず。
日本海方面は鐵道の山陰線開通してより、陸上の
交通大いに便利となりたれども、海上の交通は未
だ盛ならず。

五 都邑

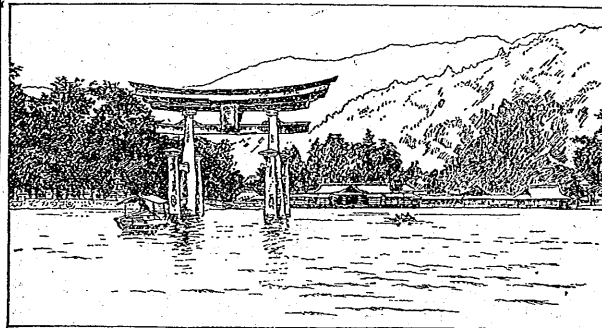
旭川下流のほとりにある岡山は商業交通の要地
にして、第十七師團^{しだいだん}のある所なり。其の北方の津山
は山間の中心都會なり。

尾道は商業地にして、多く疊表^{じようへう}を集散^{しふさん}す。大田川下

岡山縣

廣島縣

流の平野にある廣島は中國地方第一の都會にし
て、人口凡そ十五萬、第五師團
の所在地なり。其の港を宇品
といふ。廣島の東南にある吳^{くれ}
は重要な軍港にして、宏大
なる工廠^{しやう}あり、多く兵器を製
し、艦船^{かんせん}を造る。廣島灣内の嚴^{げん}
島^{しま}は風光の美を以て知られ、
嚴島神社の社殿^{しやけん}廻廊^{くわいりやう}はあた
かも海上にうかべるの觀あ



社 神 島 嚴

山口縣

島根縣



出雲大社

り。
下關は著名の港市にして、神戸を距ること汽車にて約十二時間の行程にあり。此の地は門司との間に下關海峡をはさみて、瀬戸内海の門戸をなし、船舶の出入しげく、貨物の集散亦盛なり。
濱田は日本海岸の主なる港にして、杵築は名高き出雲大社のある所なり。宍

鳥取縣

道湖にのぞめる松江は日本海方面における著名の都會にして、風景甚だ美なり。
中海の東南岸には商業地の米子あり、夜見濱の北端には日本海の一要港たる境あり。鳥取は日本海方面の主なる都會なり。

第七 四國地方

一 區分

四國地方は四國島を占めて、徳島・香川・愛媛・高知の四縣に分たる。是等の縣廳は徳島縣・高松縣・川・松

山 媛・高知 縣高知 知にあり。

二 地勢

四國は山がちにして、四國山脈東西に走り、剣山石
 鎚山などの高山其の中にそびゆ。河川はおほむね
 源を此の山脈に發して四方に流る。中にも吉野川
 は最も大にして、山脈に沿ひ、東に流れて、紀伊水道
 に入る。平野は甚だとほしく、わづかに吉野川の下
 流地方と、高松・松山・高知の附近とに之を見るのみ。
 海岸は出入多く、ことに瀬戸内海と豊後水道との
 沿岸には數多の港あり。

山岳・河川
 及鎚山
 (三三五の米)

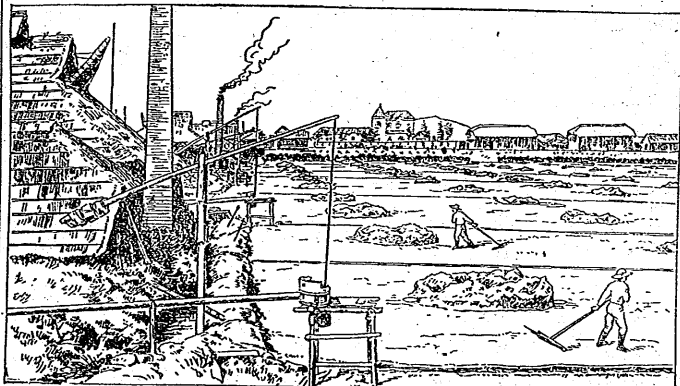
海岸

吉野川ハ
 四國三郎
 長サ六の里
 渡川ハ
 四万十川
 長サ四十八里

林業・水産

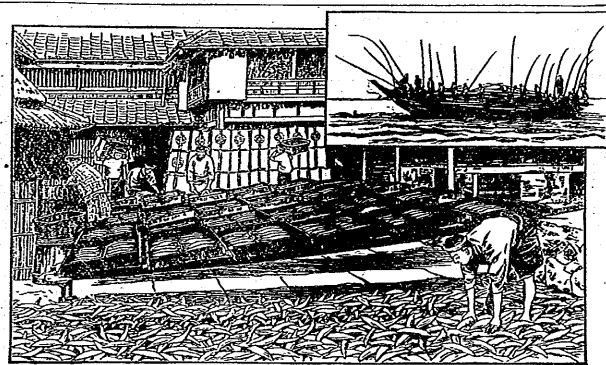
三 産業

太平洋方面は氣候温暖に
 して、雨量多く、樹木繁茂し
 て、林産に富めり。瀬戸内海
 方面は雨量割合に少くし
 て、其の沿岸は製塩に適す。
 中にも高松の西にある坂
 出^香川と鳴門海峡にのぞ
 める撫養^{徳島}と、塩の主
 産地として知らる。近海は



田塩の出坂

の産業其の他



（縣知高）釣鯉と造製節鯉

る中心地たり。此の他、吉野川流域の藍・煙草、愛媛縣

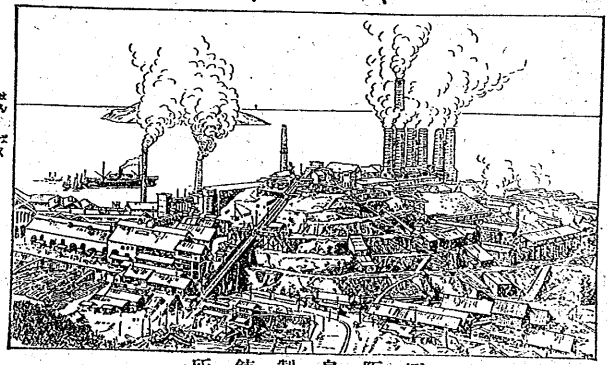
水産の利に富みて、漁業よく行はる。高知縣は鯉節など、水産物の産出ことに多し。四國山脈中にある別子（愛媛縣）は名高き銅山にして、其の鑛石は瀬戸内海の四阪島（愛媛縣）に送りて之を製鍊す。高知愛媛の二縣には和紙の製造盛にして、伊野（高知縣）は其の主な

アンチモ
ハ市川
ニホル

の綿織物等も四國地方の主要なる産物なり。

四 交通

鐵道未だあまれからずして、陸上の交通は便ならず。されど海上の交通は便利にして、主要なる都邑はおほむね港をなし、大阪・神戸をはじめ中國・九州の諸港とよく航路を通ず。中にも瀬戸内海沿岸の港は船舶の出入すこ



所鍊製島阪四

栗林 兼六 後樂

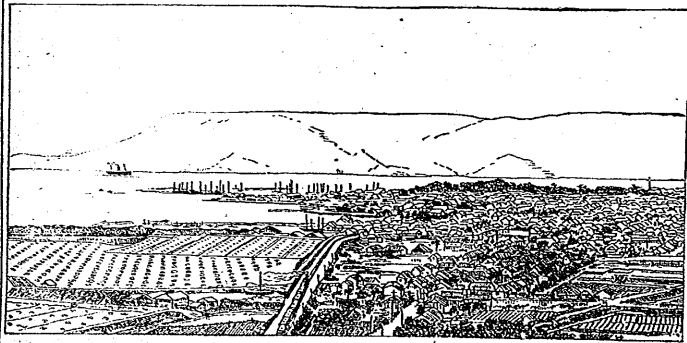
徳島縣

香川縣

ぶる多し。

五 都邑

吉野川下流の平野にある徳島は四國屈指の都市にして、綿織物を産す。瀬戸内海の沿岸には良港の高松ありて、東に屋島の勝地を望む。高松の西に商業地の丸龜及び多度津港あり。多度津の東南に當れる善通寺は



高松と屋島

愛媛縣

高知縣

第十一師團の所在地にして、此の附近の琴平は名高き金刀比羅宮のある所なり。松山は伊豫絋を集散すること多く、其の附近には道後温泉及び三津濱高濱の二港あり。高知は太平洋方面の中心都市をなす。

尋常小學地理書 卷一 兒童用終

附錄

一 關東地方

府縣名	府	縣	所府在縣地廳	管轄區域
東京府	東京	府	東京	武蔵の一部 伊豆七島 小笠原諸島
神奈川縣	神奈川	縣	横浜	武蔵の一部 相模の一部
千葉縣	千葉	縣	千葉	下總の一部 安房總の一部
埼玉縣	埼玉	縣	浦和	武蔵の一部
府縣名	府	縣	所府在縣地廳	管轄區域
群馬縣	群馬	縣	前橋	上野
栃木縣	栃木	縣	宇都宮	下野
茨城縣	茨城	縣	水戸	常陸の一部 下總の一部
府縣名	府	縣	所府在縣地廳	管轄區域
青森縣	青森	縣	青森	陸奥の一部
秋田縣	秋田	縣	秋田	羽後の一部 羽前の一部
山形縣	山形	縣	山形	陸奥の一部 羽後の一部
福島縣	福島	縣	福島	磐城の一部 陸奥の一部
宮城縣	宮城	縣	仙台	磐城の一部
岩手縣	岩手	縣	盛岡	陸奥の一部 陸奥の一部

二 奥羽地方

三 中部地方

府縣名	府	縣	所府在縣地廳	管轄區域
靜岡縣	靜岡	縣	静岡	駿河伊豆の一部 遠江の一部
愛知縣	愛知	縣	名古屋	三河飛騨 美濃
岐阜縣	岐阜	縣	岐阜	甲斐
山梨縣	山梨	縣	山梨	信濃
長野縣	長野	縣	長野	信濃
府縣名	府	縣	所府在縣地廳	管轄區域
新潟縣	新潟	縣	新潟	越後佐渡
富山縣	富山	縣	富山	越中
石川縣	石川	縣	金澤	加賀
福井縣	福井	縣	福井	越前
府縣名	府	縣	所府在縣地廳	管轄區域
奈良縣	奈良	縣	奈良	大和
和歌山縣	和歌山	縣	和歌山	紀伊の一部 紀伊の一部
三重縣	三重	縣	津	伊勢伊賀 志摩伊賀の一部
滋賀縣	滋賀	縣	大津	近江
京都府	京都	府	京都	丹波城の一部 丹波津の一部 河内津の一部 和泉津の一部
大阪府	大阪	府	大阪	攝津馬場津の一部 淡路路
兵庫縣	兵庫	縣	神戶	

四 近畿地方

附錄

五 中國地方

111

香川縣		德島縣	六 四 國 地 方	岡山縣	廣島縣	山口縣	府縣名
高德		德島		岡山	廣島	山口	府在縣地廳
松		阿波		備前	備安	周防	管轄區域
霞岐		阿波		備前	備安	周防	管轄區域
高知縣		愛媛縣	六 四 國 地 方	島根縣	鳥取縣	鳥取縣	府縣名
高松		松山		松江	鳥取	鳥取	府在縣地廳
知山		伊豫		出雲	石見	隱岐	管轄區域
土佐		伊豫		出雲	石見	隱岐	管轄區域

六
四國地方

大正七年二月二日印
大正七年二月五日刷
大正七年二月六日翻刻
大正七年二月十三日翻刻發行

著作權所有

著作兼
發行者

文
部
省

尋常學地理書卷一兒童用

定價金 八錢

大正十一年度
臨時定價金 拾五錢

翻刻發行
兼印刷者

東京市小石川區久堅町百〇八番地¹²
日本書籍株式會社

代表者 大倉保五郎

印刷所 東京市小石川區久堅町百〇八番地
日本書籍株式會社工場

大正七年二月七日
文部省檢査濟

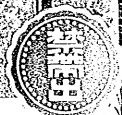
發賣所

東京市日本橋區新右衛門町十六番地
株式會社 國定教科書共同販賣所

尋常小學地理書 卷二

兒童用

文部省





兒童用

文部省

尋常小學地理書 卷二

目録

第一 九州地方	一頁	二 産業	二十四	一 總論	五十五
一 區分	一	三 交通	二十七	二 支那	五十九
二 地勢	一	四 都邑	二十八	三 シベリヤ	六十九
三 産業	五	五 千島列島	三十	四 印度	七十一
四 交通	八	第四 樺太地方	三十	五 東南アジア	七十三
五 都邑	九	一 地勢	三十	第九 ヨーロッパ	七十五
六 琉球列島	十三	二 産業	三十二	第十 アフリカ	八十五
第二 臺灣地方	十四	三 都邑・交通	三十四	第十一 北アメリカ	八十八
一 區分・地勢	十四	第五 朝鮮地方	三十五	第十二 南アメリカ	九十五
二 住民・産業	十六	一 區分・地勢	三十五	第十三 大洋洲	九十九
三 交通	十九	二 住民・産業	三十八	第十四 世界と日本	百三
四 都邑	二十	三 交通	四十一	第十五 地球の表面	百六
第三 北海道地方	二十二	四 都邑	四十二	附録	一
一 區分・地勢	二十二	第六 關東州	四十四		
		第七 大日本帝國總説	四十六		
		第八 アジヤ洲	五十五		

尋常小學地理書 卷三 兒童用

第一 九州地方

一 區分

九州地方は九州島と其の屬島及び琉球列島とを占め、福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・大分・沖繩の八縣に分たる。是等の縣廳は福岡縣・佐賀縣・長崎縣・熊本縣・鹿兒島縣・宮崎縣・大分縣・那覇縣にあり。

二 地勢

九州島は海岸線の出入極めて多く、又屬島に富む本島の中には山岳丘陵起伏せるも、海岸の地方には所々に

山脈



平野あり。殊に北部は海岸線の出入著しく、平野も亦よく開けて、産業盛に、交通便利なれば、都邑・良港多し。

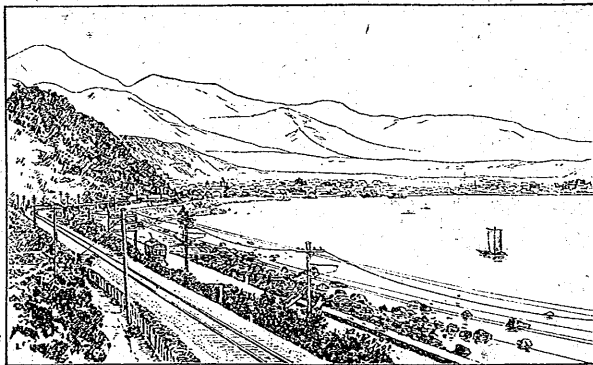
阿 四國山脈の續なる九州山脈は、九州島の南部を斜に走りにて主なる分水嶺をなし、中國山脈の續なる筑紫山脈は、北部に起伏して丘陵をなせり。

山 是等兩山脈の間には、阿蘇火山脈東西に走りにて、鶴見・阿蘇・温泉等の火山管え、又別府・大分・温泉・長崎などの温泉場、耶馬溪・大分・の名勝あり。阿蘇山は此の火

河川・平野

山脈の主峯にして、舊火口の廣大なるを以て名高し。又九州島の南部には、霧島火山脈ありて南北に走り、遠く琉球列島に通ず。此の火山脈中には霧島・山櫻島等の火山あり。

河川の主なるものには、西に流るゝ筑後川・球磨川・東に流るゝ大淀川等あり。筑後川の下流地方には筑紫平野あり。此の平野は殊に廣く、地味肥沃なれば、農産物を産すること多し。



別府温泉と鶴見岳

海岸

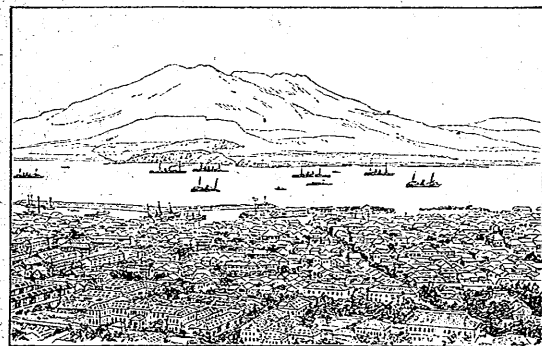
北部の海岸には到る所に良灣ありて、港市多く、門司若松福岡縣・博多福岡縣・佐世保長崎縣・三池福岡縣等は其の主

なるものなり。佐世保は佐世保軍港のある所なり。

又南部には大隅・薩摩の二半島突出して、鹿兒島灣をかこめるあり。此の灣に臨みて鹿兒島港あり。

屬島には西北に壹岐・對馬ありて、日本海と東支那海とを分ち、西には五島・天草の諸島あり。又

屬島



鹿兒島港と櫻島

南には薩南諸島ありて琉球列島と共に長く東北より西南に連る。

三 産業

農業・林業

九州島は氣候温暖にして、米・麥・甘藷・菜種などの農産物を産すること多し。殊に北部の諸平野は米の産出に富む。又北部には、佐賀の實、南部の鹿兒島灣の沿岸には煙草を産し、東南部の山地よりは林産物を出すこと少からず。

牧畜

九州島は我が國に於ける牛・馬の主産地にして、其の飼養は殊に中部以南の諸縣に盛なり。

鑛業

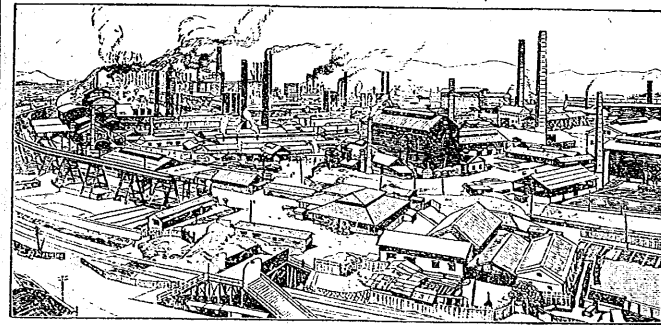
北部にある福岡・佐賀・長崎の三縣は、我が國にて炭坑業

工業

石炭の産額比較 我國の石炭年産額約二千四百萬噸

九州	福岡	大分	熊本	鹿兒島	長崎	佐賀	他地方
九	岡	縣	縣	縣	縣	縣	方

の最も盛なる地方にして、石炭の産額は我が國總産額の過半を占む。中にも福岡縣の遠賀川流域並びに三池附近はこの業殊に盛なり。又鹿兒島縣よりは金を産す。北部の海岸地方は石炭の供給容易にして、海陸の交通も亦便利なれば、近時、工業著しく發達せり。殊に門



八幡の鐵製所

水産業



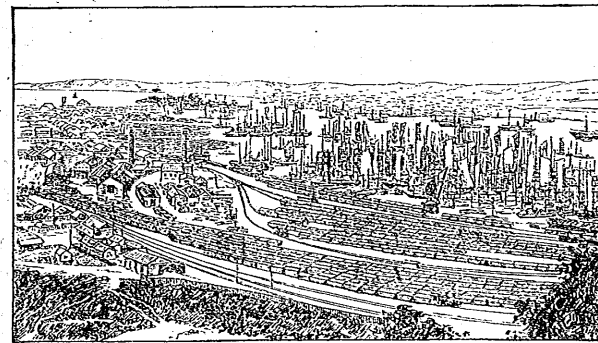
有田の陶器製造所

司より若松に至る一帯の地方の如きは、八幡にある官設の製鐵所を始め、數多の製鍊場、砂糖、藥品等の製造場ありて、我が國の一大工業地區をなす。有田縣佐賀の製陶、長崎の造船、久留米縣福岡の絨織、大分縣の疊表の製造等も亦名高き工業なり。近海は水産物に富む。長崎縣には鰯を産して、多く之を支那に輸出し、鹿兒島縣には多

く鯉節を産す。又有明海の北岸にては盛に牡蠣を養殖し、西方の海中よりは珊瑚を採集す。

四 交通

鐵道は門司を起點として各地に通じ、又山陽線との連絡も便利なり。鐵道の中、鹿兒島線は門司より福岡・熊本を経て鹿兒島に至り、長崎線は久留米の北に於て鹿兒島線に分れ、佐賀を経て長崎に至る。いづれも我が國



若松港

鐵道

海上の交通

福岡縣

鐵道幹線の一部をなせり。此の他、東北部の海岸には豊州線あり、南部には宮崎線あり。又炭坑多き遠賀川の流域には數多の鐵道あり。北部の海岸は海上の交通最も盛にして、主なる港には外國汽船も出入す。中にも門司には内外數多の航路集れるが故に、船舶の出入殊に多し。長崎の附近よりは支那及び浦潮斯德等に海底電線を通ず。

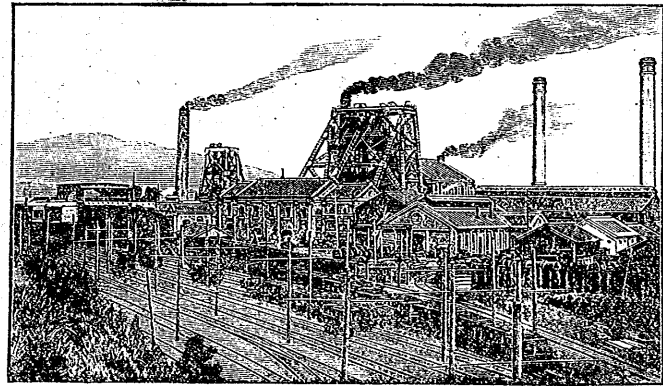
五 都邑

門司は海陸交通の要地にして、又若松と共に石炭の輸出港として名高し。是等兩地の間にある小倉には第十

二師團あり。

福岡は九州島北部の主要なる都市にして、人口九萬餘、商業甚だ盛なり。此の地に九州帝國大學あり。福岡の東南にある太宰府神社は菅原道眞を祀る。

久留米は米・久留米緋の集散地にして、第十八師團のある所なり。三池港は石炭の輸出港として名高く、こゝに近き



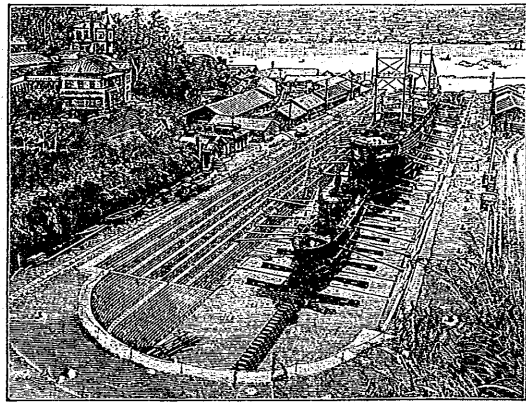
三池の一大炭坑(萬田炭坑)

大牟田は盛なる工業地なり。

佐賀縣

長崎縣

熊本縣



長崎に於ける造船所

佐賀は筑紫平野にある主要の都會にして、農産物を集散し、其の西北にある唐津港は石炭を輸出す。

長崎は天然の良港をなし、古來名高き開港場にして、人口約十九萬、こゝに宏大なる造船所あり。

熊本は熊本平野の中心都市にして、名高き熊本城には第六師團を置く。球磨川の下

鹿兒島縣

宮崎縣

大分縣

流のほとりには工業地の八代あり。

鹿兒島は九州島南部の主なる都會にして、良港をなし、

東に櫻島火山を望む。薩南諸島には

大島を主産地として甘蔗を産す。

霧島山の東南に都城あり、大淀川の

下流に臨みて宮崎あり。いづれも地

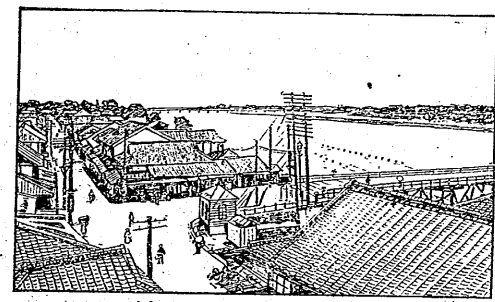
大方の中心都會たり。

豊豫海峡に臨める佐賀。關には大なる

製鍊所あり。別府灣の沿岸には大

分、別府の二都會あり。別府の西北に

ある宇佐は宇佐神宮のあるを以て知る。



宮崎と大淀川

六 琉球列島 (沖繩縣)

琉球列島は薩南諸島と臺灣島と

の間に連れる五十餘の島嶼より

成る。氣候甚だ暖にして、雨多く、地

味甘蔗の栽培に適するを以て、粗

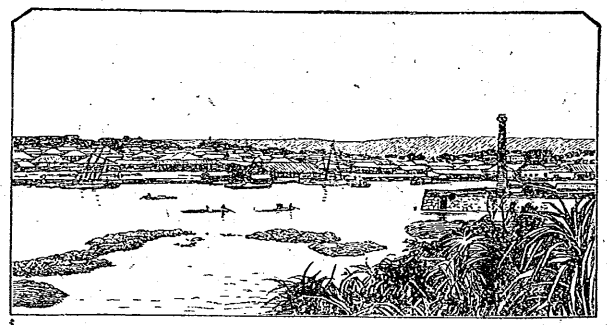
糖の製出多し。又甘藷及び豚の産

出も少からず。

此の列島の中、沖繩島は最も大に

して、こゝに那覇首里の二都會あ

り。那覇は列島唯一の港市なり。



那覇港

第二 臺灣地方

一 區分・地勢

臺灣地方は臺灣島と其の屬島たる澎湖諸島などを占む。臺灣總督府は臺北にあり。

臺灣島は其の形南北に長くして、東は太平洋に面し、西は臺灣海峽をへだてて支那に對す。澎湖諸島は此の海峽にあり。

臺灣島は地勢上、自ら東部の山地と西部の平野とに分る。臺灣山脈は東部を南北に走り、本島の分水嶺をなして、高峻を極め、中に聳ゆる新高山は高さ一萬三千餘尺、我が國第一の高山なり。臺灣山脈は東方に急にかたむ

山脈・海岸

地勢

區分

河川

西部の平野

きて、海岸にせまり絶壁をなせる所あり。されど西にはゆるやかにかたむきて、本島西部の平野に接せり。海岸線は屈曲少く、良港には基隆、打狗等あるに過ぎず。

河川の主なるものは淡水河、濁水溪、下淡水溪にして、いづれもゆるやかに西部の平野を流れ、灌漑の便を與ふること少からず。

西部の平野は地味肥えて、諸種の農産物を産すること多く、又工業も漸次盛にして、交通も



新高山

便利なれば、戸口密にして、臺灣地方に於ける總數の九割餘を占む。

二 住民・産業

臺灣地方は人口三百數十萬あり。土人は十餘萬にして、多くは山地に住し、尙未だよく開けず。其の他の多數は支那より移住せる支那民族にして、おほむね平地に住し、農業・商業等を營む。而して近時移住せる内地人は其の數次第に増加して、總數十五萬に及び、大いに此の地方の開発をは



臺灣土人及其家

住民

産業

農業・工業



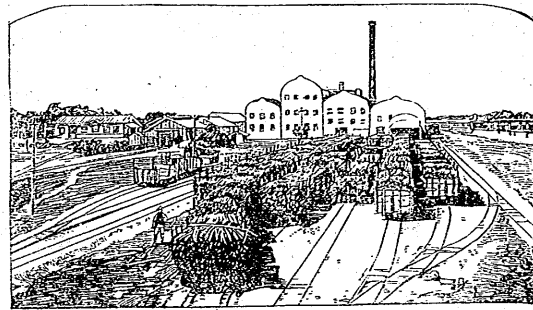
かれり。

此の地方は氣候甚だ暖にして、雨多ければ、檜樟がしまる。びんらうに等繁茂して森林をなし、又諸種の農産物の産出甚だ多し。家畜には豚・水牛等あり。

農業は臺灣島第一の産業にして、稻・甘蔗・茶・甘藷・落花生を始め、バナナ・パイナップル等の栽培を主とす。米と茶とは中部以北の平野に多くして、米は年三回の收穫あり、茶は多くウーロン茶に製して海外に輸出

林業、工

鐵業、其
の他



製糖工場

せらる。甘蔗は中部以南の平野を主産地とし、各地の製糖工場にて盛に之を粗糖に製して、内地に送る。粗糖は本島第一の産物なり。山地は阿里山を主として檜其の他の良材を産し、嘉義には製材の業最も盛なり。又本島には樟腦の特産物ありて其の名内外に著る。基隆の東にある金瓜石瑞芳は金を産し、金瓜石は銅をも産す。基隆の附近の地よりは石炭を産出すること少からず。

鐵道

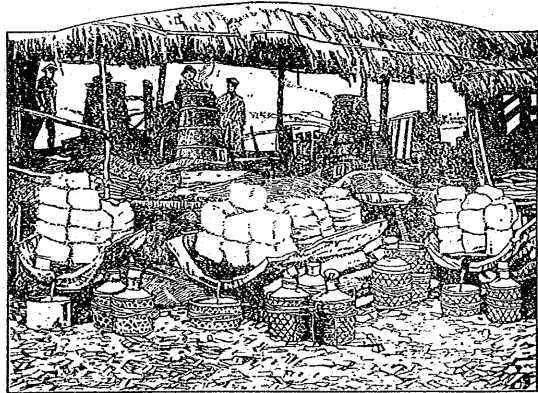
海上の交通

此の他、臺灣島の産物には西海岸に産する塩、各地にて製する夏帽等あり。

三 交通

臺灣島西部の平野には鐵道發達し、其の幹線は基隆を起點として南方に走り、數多の支線を分つ。臺灣山脈の東にも亦南北に通ずる鐵道あり。

臺灣地方には良港少きため、海上の交通は未だ不便をまぬかれず。されど基隆と打狗とは港の設備すでにと



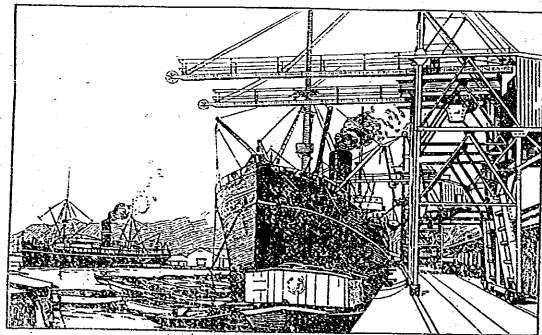
樟腦工場

とのひ、航路こゝより内外の諸港に通ぜるを以て、船舶常に輻輳す。

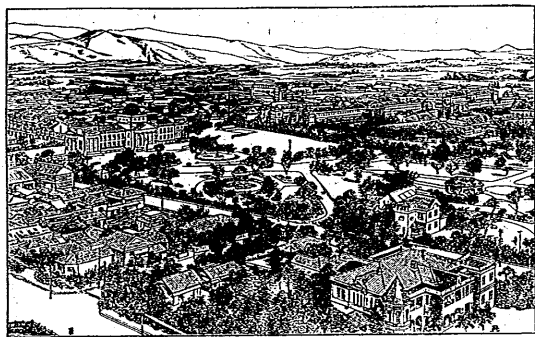
四 都邑

基隆は臺灣島の門戸にして、米樟腦樟腦油を積出すこと多し。淡水河に臨める臺北は政治・商業・交通の中心をなし、製茶の業も亦こゝに盛なり。淡水河の河口に臨みて淡水港あり、茶を輸出す。

臺北以南には鐵道幹線に沿ひて、臺中・嘉義・臺南・打狗等の都會あり。臺中と嘉義とは本島中部の中心市場にし



基隆港



臺北市街

て、嘉義附近の地には製糖業盛なり。臺南は本島南部の中心都會をなす。打狗よりは砂糖米を積出すこと多く、其の東にある阿緱は製糖工場のあるを以て知らる。

東海岸にある花蓮港附近の地には、内地人の村落次第に開け、甘蔗を産す。

澎湖諸島は低き岩がちの島々より成る。澎湖島は其の最も大なるものにして、こゝに海軍要港の馬公あり。

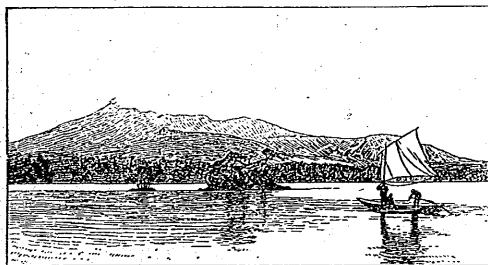
第三 北海道地方

一 區分・地勢

區分

地勢

山系



駒ヶ岳と大沼

北海道地方は北海道本島と其の屬島及び千島列島とを占む。北海道廳は札幌にあり。北海道本島は菱形の主部と、是より西南に突出せる半島部とより成る。蝦夷山系は本島の主部を南北に走り、又千島火山脈は之を東西に走って千島列島に連る。蝦夷山系と千島火山脈との相會する中央部は、地勢高峻にして、本島の大分水嶺をなし、

河川・平野

海岸

中に旭岳其の他の火山多し。又那須火山脈は本州よりのび來りて、本島の半島部を通じ、中に駒ヶ岳まつかり岳等の火山あり。

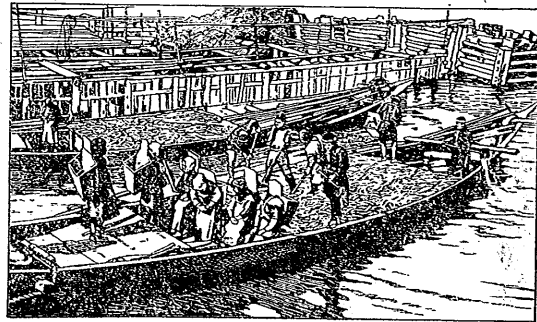
中央部に源を發する河川には、北に向ふものに天塩川あり、東南に向ふものに十勝川あり。又西南に向ふものには我が國屈指の大河たる石狩川あり。いづれも其の沿岸には平野開けて、農業次第におこれり。中にも石狩川沿岸の石狩平野は最も廣く、又よく開拓せられて、戸口多く、交通も便利なり。

海岸には半島部に内浦灣あるの外、出入少く、隨つて天然の良港も亦まれなり。主なる港を函館・小樽・室蘭・根室

等となす。

二 産業

北海道地方は古來主としてアイヌの住せし所にして、戸口少かりしが、維新後、他の地方よりこゝに移住をすゝめ、意を開拓に用ひたるため、今や人口百數十萬に上り、各種の産業大いに進歩せり。此の地方の近海は、寒流及び暖流の流るゝありて、にしん、いわし、たらい、かぼたて、がひ等の魚貝に富み、世界に名高き漁場をなし、こんぶを産す



北海道的本島に於けるしんの揚

水産業

ること亦多し。河川にはさけますの産出少からず。是等の水産物は或は之を乾し或は塩漬、罐詰等にして、内外各地に送る。

農業・牧畜

北海道本島は冬季、寒氣やゝ強くして、もとは農業盛ならざりしが、近時開拓の歩を進むると共に、所々の平野にはこの業漸次廣く行はれて、豆類、麥類、馬鈴薯等の産出多く、近年米の産額も次第に増加するに至れり。又本島の西南部よりは苹果を産出す。

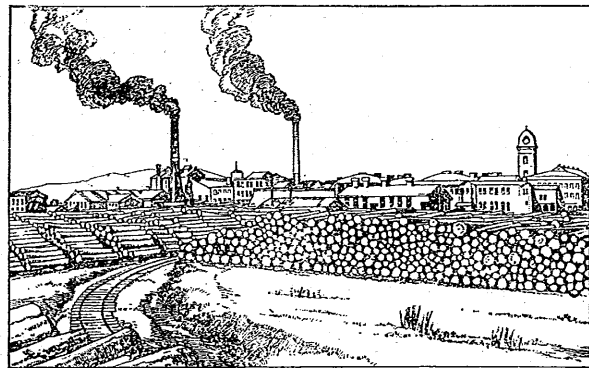
太平洋方面の原野は雨少くして、牧畜に適し、馬の飼養盛なり。

林業

北海道本島には森林多し。えぞ松とど松等は、木材とし

工業

工業



苦小牧にありて紙工場

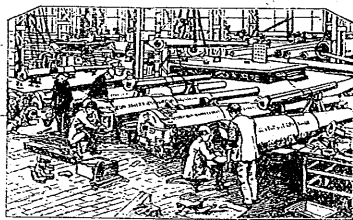
て各地に輸送せらるゝのみならず、苦小牧にては盛に之を紙の原料たるパルプに製す。又東北部の海岸地方にてはどろのきにてマツチの軸木を製す。鑛産物の中、石炭は最も主なるものにして、石狩平野の東にある山地を主産地とし、室蘭より内外各地に積出さる。硫黄は之に次ぎ、諸火山に産す。

北海道本島は石炭・水力の使用に便利なれば、工業も漸

鐵道

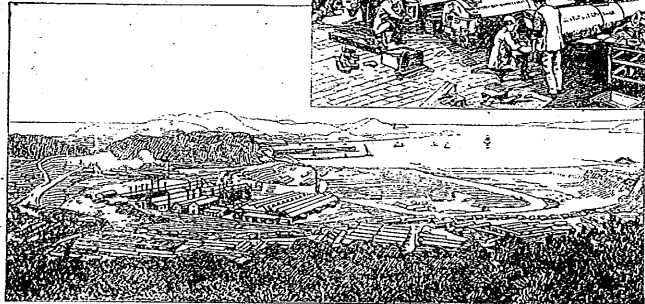
三 交通

次各地におこる。中にも札幌には麻絲、ビール、苦小牧には洋紙、パルプの製造盛にして、室蘭には大なる製鋼所あり。



室蘭にありて鋼製所

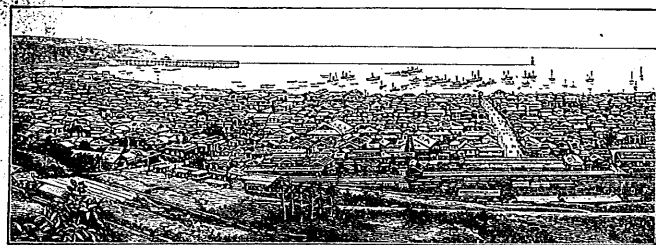
函館は鐵道連絡船の發着地にして、北海道の鐵道の起點たり。鐵道の函館線は即ち此の地より小樽、札幌を経て旭川に至り、釧路線は此の線より分れ、釧路を経て、其の東方の海岸を走る。いづれも我が國の鐵



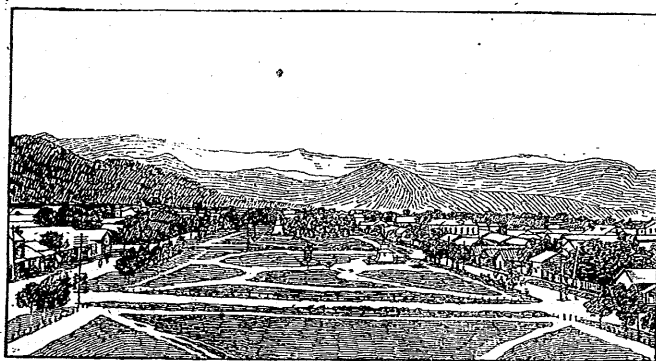
海上の交通

道幹線の一部をなす。其の支線には、札幌の東北より室蘭に至るもの、旭川より北方に進むもの、十勝川沿岸より網走に至るものなどあり。
近海は季節によりては霧深く、又流水ありて、海上の交通のさまたげらるゝこと少からず。されど函館・小樽・室蘭等の諸港には船舶の出入常に自由なり。函館・小樽よりは樺太・浦潮斯徳にも航路通ぜり。

四 都邑



小樽港



札幌の街市

産業・交通の進歩と共に都邑も増加し、石狩川沿岸の平野と南部の海岸地方とには、其の數少からず。
海陸交通の要地たる函館と小樽とは商業盛にして、函館は水産物を輸出し、小樽は木材を輸出すること多し。石狩平野にある札幌は北海道地方の中心都市にして、多く農産物を集散し、又諸種の工業も盛に行はる。こ

ここに北海道帝國大學あり。旭川は石狩川上流の上川盆地にある都會にして、第七師團の所在地なり。此の他、北海道本島の主なる都邑には室蘭、釧路等あり。

五 千島列島

千島列島は三十餘の島嶼より成り、住民極めて少し。擇捉島は最も大なる島にして、東北端にある占守島はロシア領のカムチャツカ半島と相對す。此の列島にはさびますの産出多く、近海にはおつとせいらつこ等すめり。

第四 樺太地方

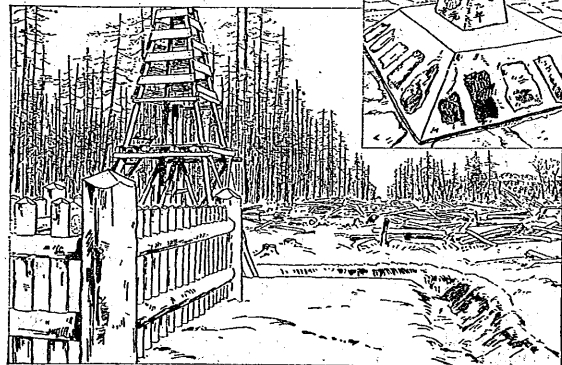
一 地勢

樺太地方は樺太島の南半を占め、北はたゞちにロシア領に連り、西は間宮海峡をへだててロシア領シベリヤに對す。樺太廳は豊原にあり。



海岸

樺太地方は其の形南北に長く、南部と北部とには半島の突出せるありて、各内に一灣をいだく。是等兩灣のある外、海岸線は彎入にとぼし、隨つて良港も亦まれなり。



日露の境と境界標

山脈・河川・
平野

樺太山脈は此の地方の西部を南北に走り、其の東には北部にも南部にも、之と並び走れる小山脈あり、是等東西兩山脈の間には低地横たはり、北に幌内川あり、南に鈴谷川あり。

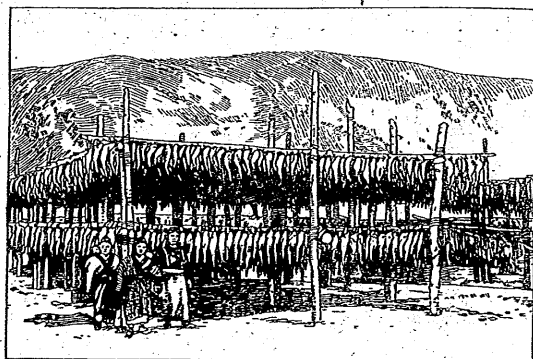
南の低地は此の地方の中にて開拓の進める所にして、こゝに豊原・大泊の二都會あり。鐵道も亦此の低地を南北に通ず。

二 産業

樺太地方にはアイヌ・ギリヤクなどの土人あれども、其の數甚だ少し。されば他の地方よりこゝに移住するもの次第に増加して、今や人口約七萬に及び、開拓も亦隨

農業・林業・
工業等

水産業



樺太に於ける棒の製造

つて進歩せり。

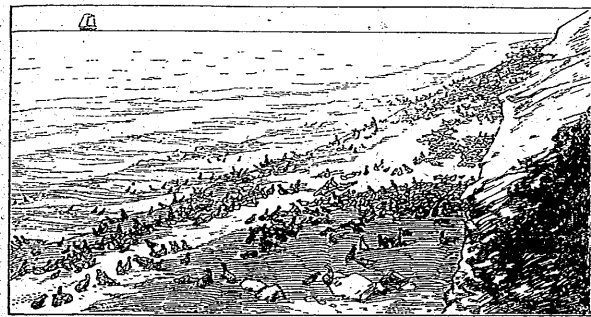
此の地方は北方にかたよりて、冬季長く寒氣強きが故に、地味肥沃なる低地にも農業未だ盛ならず。されど森林廣くして、とど松・えぞ松から松など木材の産出多く、大泊・豊原には製材及びパルプ製造盛ならんとす。又所々に石炭の産出あり。

近海には水産物多ければ、水産業は盛にして此の地方第一の産業となり、漁期には他の地方より來りて之に

従事するものも甚だ多し。水産物の中にしんますたらかに等は主なるものにして、多く内外各地に送らる。海豹島にはおつとせい繁殖せり。

三 都邑・交通

樺太地方は都邑尙未だ多からず。其の主なるものは大泊・豊原・真岡なり。大泊は樺太地方の門戸をなせる港市にして、航路はこゝより小樽・函館等の諸港に通じ、鐵道は此の



海豹島のつとせい

區分

地勢

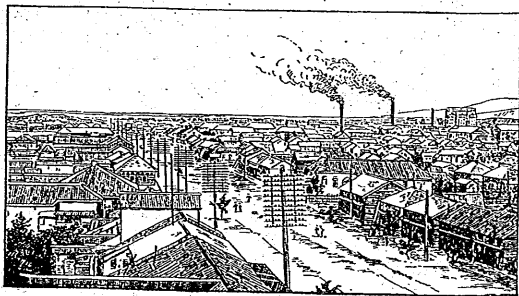
地を起點とす。豊原は樺太地方の中心都會なり。真岡は西海岸の主なる港にして、多く水産物を集散す。

第五 朝鮮地方

一 區分・地勢

朝鮮地方は朝鮮半島と其の屬島とを占めて、十三道に分たる。朝鮮總督府は京城にあり。

朝鮮半島は北より南に突出して、日本海と黃海とを分ち、南は朝鮮海峽をへだてて九州地方に對し、北は鴨綠

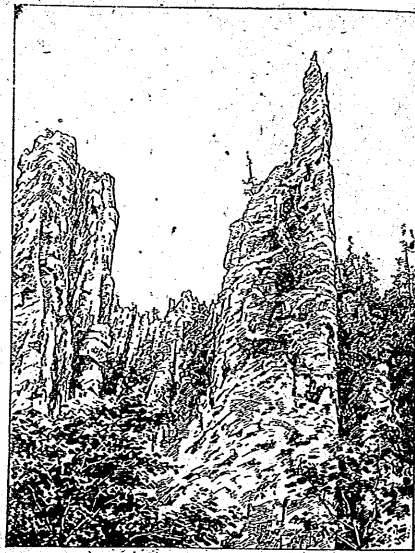


豊原の市街

山脈

江・豆・滿江等によりて滿洲及びシベリヤと境せらる。朝鮮半島の北部は南部よりも山地多く、北境には白頭山を主峯とする長白山脈あり。其の他の大部は高原狀をなし、南にかたむきて、日本海の海岸にせまれり。南部には日本海の海岸に沿ひて南北に走れる大白山脈あり。其の南部より一支脈出づ。之を小白山脈といふ。大白山脈中の金剛山は風景の美なるを以て名高し。大白山脈は主要なる分水嶺をなせども、東にかたよりて走れるが故に、日本海方面は急にかたむきて、河川平野にとほしく、黃海方面と朝鮮海峽方面とは、之に比すれば地勢ゆるやかにして、大河多く、其の沿岸には平野

河川



金剛山の第一勝地

少からず。

河川には國境をなせる鴨綠江・豆・滿江の外、黃海方面に大同江・漢江・錦江あり、朝鮮海峽方面に洛東江あり。諸川の沿

海岸

岸の平野には、農業盛にして、都邑多く、交通も便利なり。日本海方面には山地海岸にせまり、且港灣少ければ、元山の外、良港まれなり。黃海方面と朝鮮海峽方面とは、港灣島嶼に富み、海上の交通頻繁なり。主なる港は、朝鮮海

峽方面にては釜山及び軍港
鎮海、黄海方面にては木浦、群
山、仁川、鎮南浦等とす。

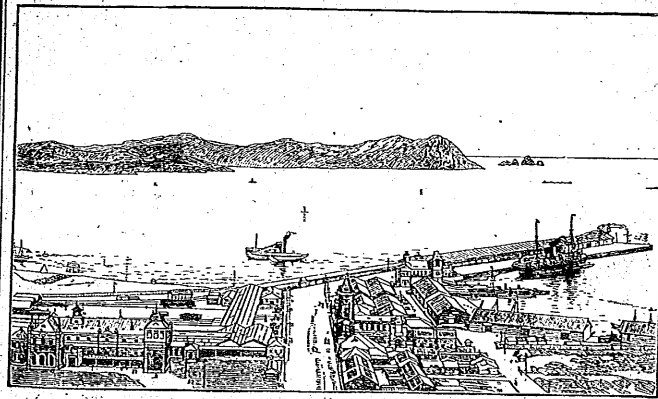
二 住民・産業

住民

朝鮮地方の人口は約一千七
百萬ありて、朝鮮人は其の多
數を占む。内地人は尙三十餘
萬に過ぎず。

産業

朝鮮地方は寒暑共に強く、冬
季、河川に結氷する所あり。又
此の地方は古來樹木の保護



釜 山 港

農業・牧
畜

少かりしかば、森林は鴨綠江・豆滿江の流域にある外、甚
だ少し。されど平野には農業廣く行はれ、原野には牧畜
所々に行はる。殊に南部の海岸地方は氣候温和にして、
雨量も少からざれば、最も農産物に富む。

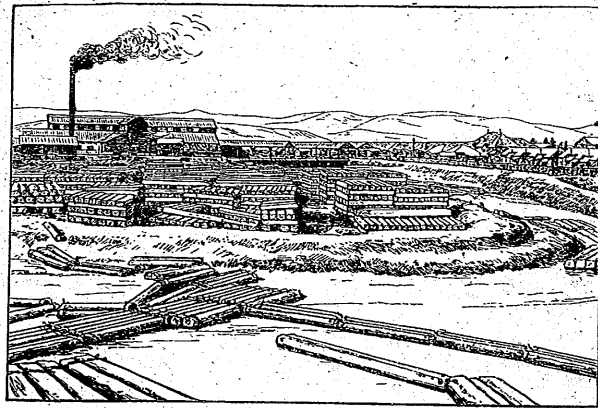
農業は朝鮮第一の産業にして、米・大豆・麥の耕作を主と
し、米は釜山・群山より、大豆は釜山より積出さる。額少
からず。又煙草・綿は中部以南の地方に、人參は開城附近
に栽培せらる。

林業

牧畜にては牛の飼養最も盛なれば、牛皮の産出多し。
鴨綠江・豆滿江の流域にある大森林には、から松もみ等
の良材多く、兩江を下して之を朝鮮各地に送り、鴨綠江

鑛業・水産業

の河口に近き新義州にては盛に之を製材す。中部には所々に金・鐵を産する鑛山あり。其の最も名高きは雲山の金山と載寧の鐵山となり。此の地方より出づる鐵鑛は多くは八幡の製鐵所に送らる。又平壤附近よりは石炭を産す。近海には魚類多くして、水産業盛に行はれ、ぶちめんたい鯛等を産す。又西海岸には



新義州に於て製材所

所々に製塩場おこれり。

三 交通

鐵道

海上の交通

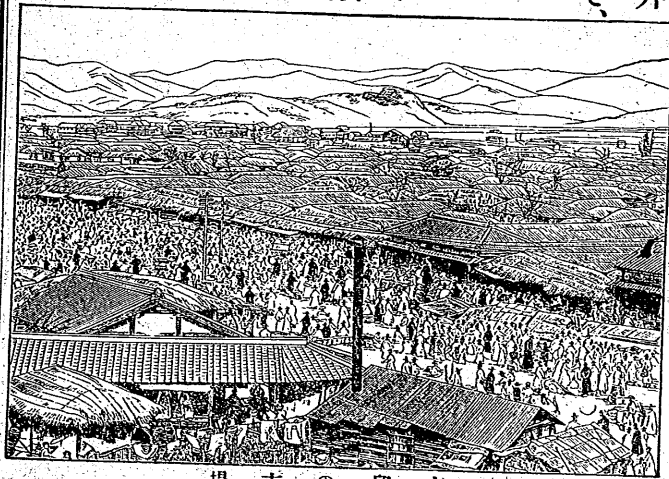
釜山より京城に至る京釜線と、京城より新義州に至る京義線とは、相連りて鐵道の幹線をなし、南部及び西部の平野をつらぬきて縦走す。此の幹線は釜山より鐵道連絡船によりて下關に連絡し、新義州よりは、たゞちに滿洲の我が安奉線に接續して、世界交通の重要な幹線をなす。其の支線の主なるものには、京城より元山に至る京元線、大田より木浦に至る湖南線などあり。近海には春夏の候霧深くして、交通をさまたぐることもあり。されど主なる港には船舶の出入常にしげく、釜山

仁川・鎮南浦・元山等には、外國航路の汽船も出入して、貿易行はる。

四 都邑

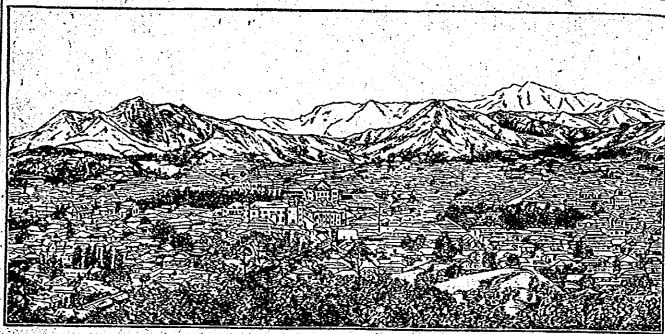
南部の都邑

釜山は朝鮮の門戸に當れるを以て、こゝには交通頻繁にして、内外貨物の出入甚だ盛なり。大邱は釜山の西北、洛東江沿岸の平野にありて、多く農産物を集散し、又定期に雜貨の大市開



大邱の市場

中部の都邑



かる。西海岸の木浦及び群山は、いづれも主なる港にして、農産物を積出す。

京城は漢江の下流に臨み、政治交通の中心をなす。其の大部は城壁のをめぐらし、總督府以下主なる官市街は、多く此の中にあり。又城外の街龍山には一箇師團を置く。

仁川は古來京城の門戸にして、港内水浅く、潮の干満の差も甚だ大なれども、港の設備次第にとゝの

北部の都邑

ひて、船舶の碇泊安全となるに至れり。
大同江下流の平野にある平壤は、朝鮮北部の主要なる都市にして、多く農産物を集散す。其の西南にある鎮南浦は、大同江下流地方の一要港にして、平壤の門戸に當り、多く鐵鑛を積出す。
日本海の海岸には、元山、清津等の要港あり。清津の西南に當れる羅南には、一箇師團を置く。

第六 關東州

關東州は滿洲の最南部なる遼東半島の南部を占め、支那本部の山東半島と相對して、黃海と渤海灣とを分つ。

産業

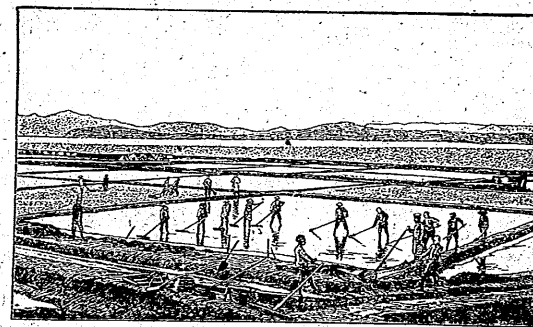
此の地は我が國之を支那より租借し、旅順に關東都督府を置く。

域内は丘陵起伏して、平地少きが故に、農業盛ならざれども、近海には漁業行はれ、所々の海岸にては塩を製す。又大連にては南滿洲に産する大豆より盛に豆粕・豆油を製造す。
海岸には港灣多く、黃海の

都邑



大連港に於ける大豆・豆粕の積出



沿岸には旅順大連あり。旅順は有名なる戦場たりし所にして、海軍の要港をなす。大連は滿洲の門戸に當り、市街及び港灣の設備よく、のひて、我が南滿洲鐵道の起點となり、又内外の航路の要港たり。されば商工業も甚だ盛にして、我が内地へは大豆、豆粕を出し、内地よりは綿織物、綿絲を入れる。

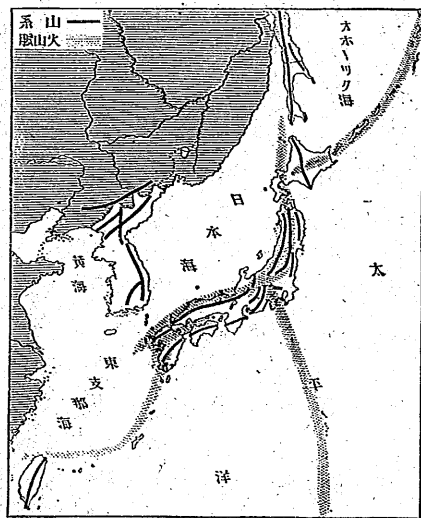
第七 大日本帝國總說

地勢

山系と火山脈

日本列島は其の形細長く、山岳丘陵到る所に起伏せるを以て、大河も平地も多からず。中にも本州の中央部は地勢最も高峻にして、中に一萬尺以上の高峯少からず。主要なる山系は、此の中央部より西南又は東北に向ひて列島を縦に走り、列島は自ら數箇の弓形をゑがけり。火山脈は是等の山系に沿ひて走るもの多けれども、又富士火山脈の如く之を横ざりて走るも

日本列島の山系図



系 山 の 本 田

河川・平野・海岸

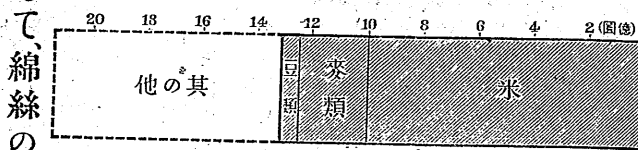
農業

のもあり。是等の火山の中には今尙活動せるもの少からず。又温泉所々に湧き出で、加ふるに風景のうるはしき所少からざるを以て、保養遊覽に適する所多し。

我が國はかくの如く山地多ければ、河川はおほむね其の長さ短く、又流急にして、水運の便少く、且屢洪水の害あり。されど其の水量は常に少からずして、灌溉發電に利用せらるゝこと多し。大河の下流及び海岸の地方には所々に平地開け、又海岸は屈曲に富みて港灣の良好なるものにとほしからず。随つて我が國は産業交通よく發達し、戸口稠密にして、都邑多し。

我が國は氣候おほむね温和にして、地味肥沃なれば、農

我が國主要農産物の産額比較



して、綿絲の原料となる。

業は古來第一の産業となれり。農産物の主なるものは米・麦・大豆・甘蔗・甘藷にして、又茶・煙草・果實等も産出少からず。

是等の農産物は多くは食用に供せらるれど、又工業品の原料として用ひらるゝものありて、其の製品の産額も少からず。是等の農産物も、之を原料としたる製品も、砂糖・製茶等の外は、輸出せらるゝもの少くして、却つて綿・粗糖・豆粕等輸入せらるゝもの多し。綿は我が國輸入品中の最も主なるものにして、綿絲の原料となる。

我が國は支那と共に世界の大蠶業國をなし、中部關東・奥羽・近畿の諸地方には、養蠶製絲の業盛に行はれ、絹織物の業も亦随つて發達す。生絲は我が國第一の輸出品にして、絹織物も亦主要なる輸出品なり。

林業

我が國は森林に富みて多く木材を産出す。木材の最も名高きは木曾谷・阿里山の檜、米代川流域・吉野川流域の杉、北海道・朝鮮北部のトナ松、えぞ松、から松等なり。

牧畜

牧畜は牛馬の飼養を主とす。羊の飼養は盛ならざれば、毛織物の原料たる羊毛は殆ど全く之を外國に仰ぐ。近海には寒流及び暖流ありて、いわし、鱈にしんなど多く、北海道近海は水産物の主産地なり。水産物の中には

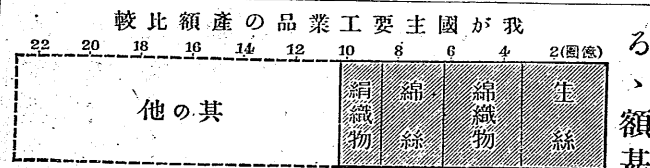
水産業

鑛業

かに、鰯など輸出額の少からざるものあり。瀬戸内海の沿岸と朝鮮半島・臺灣島の西岸とには塩を産し、所々の沿海及び河湖には魚貝等養殖せらる。

鑛産物には石炭・銅・金・石油等殊に多く、製鍊の業も随つて亦盛なり。石炭は九州島・北海道本島を主産地とし、其の産額鑛産物中の第一位を占め、我が國工業の發達を助くるのみならず、又盛に東洋諸港に輸出せらる。銅は多く足尾・日立・小坂・別子に産するを以て、我が國は世界に於ける銅の主産地となり、盛に之を海外に輸出す。金鑛は鹿兒島縣及び朝鮮半島・臺灣島に多く、又近時靜岡縣に於ける産額著しく増加し、日立・小坂にて製鍊せら

工業



額甚だ多し。石油は新潟秋田の二縣より産出して、我が國需要の過半をみたせり。鐵鑛は朝鮮、釜石附近等に産すれども、國內の需要をみたすこと能はざるを以て、我が國は多額の鐵鑛を支那より輸入して之を製鍊し、且多額の鐵材を英、米及び支那等の諸國より輸入せり。工業は近來工場到る所におこりて、著しく發達し、豊富なる石炭及び水力を利用し、内外の原料を使用して、盛に諸種の製品を出すに至れり。殊に大阪灣沿岸、東京、横濱附近、九州島の

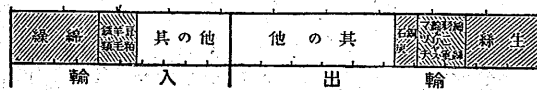
貿易

北部、名古屋附近は主要なる工業地區にして、製品の種類及び産額極めて多し。

工業の中、最も主要なるものは紡績及び染織工業にして、生絲絹織物、綿絲、綿織物の製造を主とす。是等の製品は其の産額に於て遙に他の工業品を凌げり。

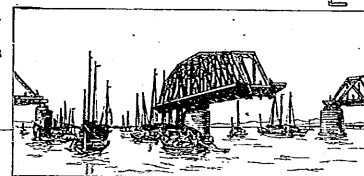
我が國の貿易は各種の産業の發達と共に、近年長足の進歩をなし、其の年總額は二十億圓に上り、輸出額は輸入額を越ゆるに至れり。横濱、神戸、大阪、門司は國內の主要なる貿易港にして、支那、イギリス、アメリカ、合衆國、

我が國の主要貿易品の貿易額比較 (我が國の年貿易額は約十二億圓 (大正五年) 輸出超過約四億圓 (同年))



交通

印度は我が主なる取引先なり。鐵道は次第に發達して、延長一萬餘哩に及ぶ。其の幹線は東京を中心として、北は北海道本島に至り、南は九州島に達し、又朝鮮を縦走して、滿洲の我が鐵道に連る。其の海上の連絡には、連絡船の設あり。又此の幹線より各地に支線を分ち、殊に近畿地方の諸平野、關東平野、九州北部の諸平野には數多の線路縦横に通ぜり。



鴨綠江の開閉橋

交通
 日本海
 朝鮮
 滿洲
 支那
 西側
 東側
 北側
 南側
 支那
 朝鮮
 滿洲
 日本海

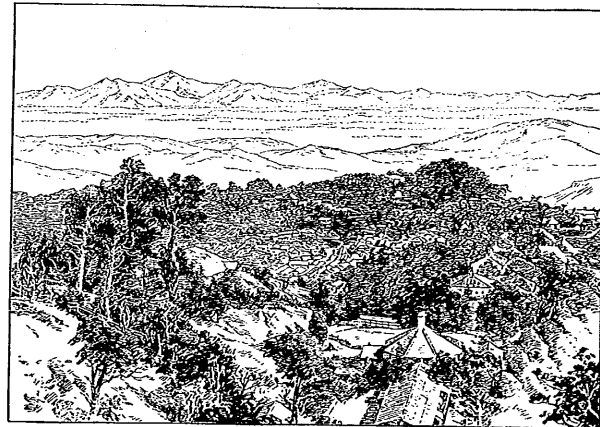
航路は横濱・神戸・大阪を主なる起點として、内外の諸港に通じ、船舶は其の數益増加して、我が國は世界の海上交通に大なる勢力を有するに至れり。

第八 アジヤ洲

一 總論

世界の陸地を分ちて六大洲となす。アジヤ洲は其の最も大なるものにして、全陸地の約三分の一を占め、早くより開けて、人口八億餘に上る。されど現今、我が國及び支那の外、國勢の盛なる獨立國なくして、其の他の大部は歐米諸國の領土たり。

山地と産業



ヒマラヤ山脈

アジヤ洲の中央部は地勢極めて高く、中にパミル高原より四方に走れる大山脈あり。殊にヒマラヤ山脈は雄大なること世界に比なく、其の主峯たるエベレスト山は高さ凡そ三萬尺、世界第一の高峯なり。中央部の諸山脈の間は西藏蒙古等の廣大なる高原及びアラビヤ半島の高原をなす。是等の高原とイラン

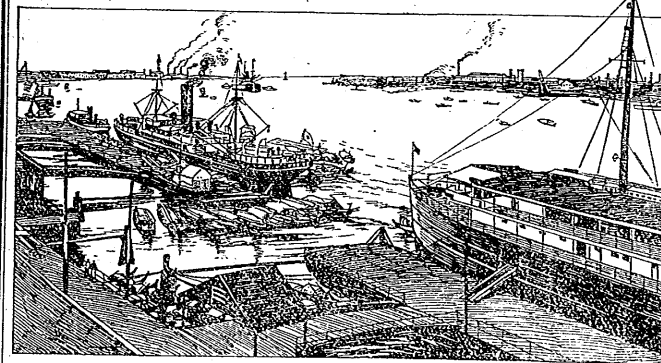
低地と産業

とは、雨量極めて少くして、草原・沙漠多く、又寒暑の差大なれば、産業發達せず。随つて住民少し。中央部の高原を下りて海岸に至る間には所々に大低地あり。中にもシベリヤの低地は最も大にして、オビ・エニセー等の諸大河之を流る。其の西南に連れる中アジヤの低地には裏海あり。シベリヤ低地の南部には農業・牧畜發達せるも、北部は寒氣極めてはげしくして産業おこらず。太平洋方面の揚子江・黃河の下流に沿ひては支那平野あり、印度洋方面のガンジス河・インダス河に沿ひては印度平野あり。いづれも地味肥えて古來農業大いに發達し、戸口甚だ密なり。此の他、太平洋又は印度

交通

洋の方面にある諸川の下流地方にも小平野ありて、印度半島の高原と共に産業發達す。又マレー諸島も近時開拓の業進歩せり。

是等産業の盛なる地方には交通の便も亦よく開け、殊に印度並びに支那の東部には鐵道大いに發達し、シベリヤ西部アジヤ等にも亦鐵道漸次發達す。河川の中、揚子江、ガンジス河等は



上海港

交通路として利用せらるゝこと最も大なるものなり。太平洋の方面と印度洋の方面とは海上の交通盛にして、其の主なる港よりは歐米・濠の諸洲に數多の航路通じ、我が國及び歐米諸國の船舶常に往來す。我が横濱・神戸、支那の上海、英領の香港及びシンガポール等は航路の大中心をなす。

二 支那

支那はアジヤ洲の大國にして、其の人口は世界總數の五分の一に及ぶ。國內は分たれて支那本部・滿洲・蒙古・西藏等の數部となる。支那本部及び滿洲はよく開けたる所にして、首府北京は支那本部の東北部にあり。

區分

支那本部
農業・土

支那本部の東部を占むる支那平野は、古來支那の主要部たり。其の北部は雨少く寒暑の差大なれども、豆類・高粱を産するこ
と多く、北京・天津を其の中心都市となす。此の平野の南部は珠江の流域と共に氣候温暖にして雨多く、米・茶・繭綿等の産出に富む。随つて是等の地方の各地には製絲・製茶の業行はれ、揚子江流域の上海には綿絲紡績の



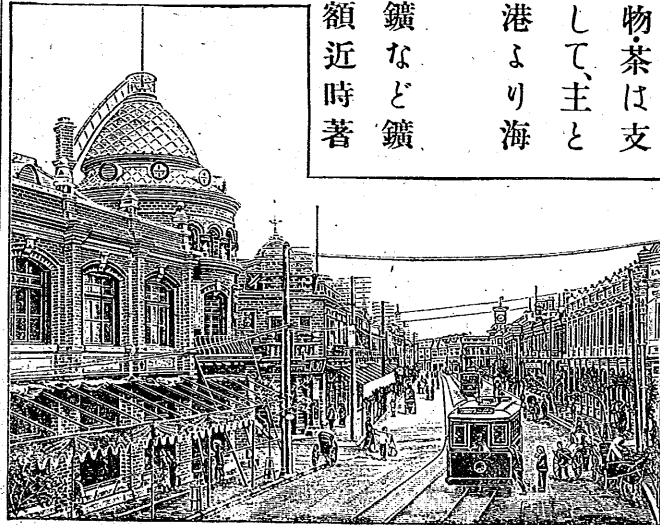
門城と街市の京北

鑛業・工

業も盛なり。生絲・絹織物・茶は支那の主なる輸出品にして、主として上海・廣東及び香港より海外に輸出せらる。

支那本部には石炭・鐵鑛など鑛物豊富にして、其の産額近時著

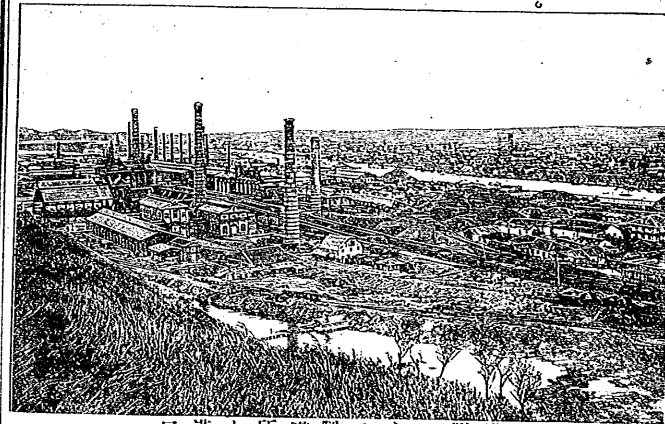
しく増加せり。鑛産地の中、最も主なるは漢口の東南にある大冶の鐵山と、大冶の南方にある萍鄉の炭坑と



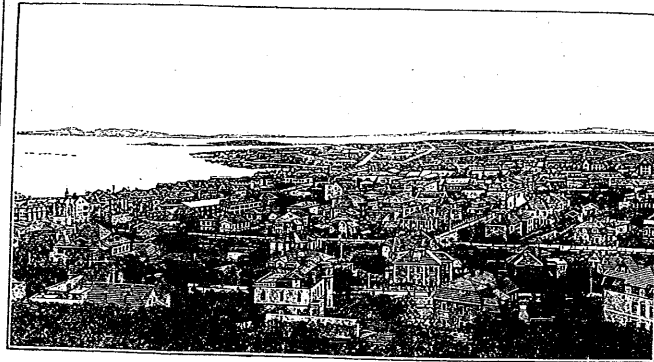
地留居の人本日るあに津天

交通・貿易

なり。其の鐵鑛と石炭とによりて漢口の對岸にある漢陽には製鐵の業大いにおこる。又大冶の鐵鑛は我が八幡にある製鐵所に送らるゝもの少からず。支那平野は交通も亦便利なり。殊に揚子江は最も主なる自然の交通路をなし、河口より約二百八十里の上流にある漢口に至るまでは海洋を



漢陽に於ける鐵製所と漢口



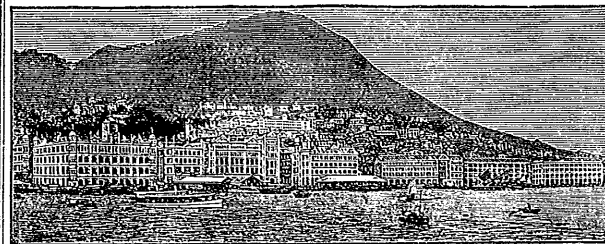
青島

交通する汽船も自由に之を往來す。されば漢口は河口の附近にある上海と共に水陸交通の要地に當り、貿易甚だ盛なり。支那の鐵道幹線の中、京奉線と京漢線とは北京に起りて、一は滿洲の奉天に至りて我が南滿洲鐵道に連絡し、一は南方の漢口に至る。又津浦線は天津より京奉線に分れて揚子江岸に至り、其の對岸にある南京と上海

山東省に於てドイツは支那より膠州灣沿岸の地方を租借して、ここに青島の港を開き、又山東鐵道を敷設し、且其の沿線に石炭・鐵礦を採掘するなど、大いに經營の歩を進めたり。然るに大正三年、我が國はドイツとの戰爭の結果、是等一切のドイツの權利を收め、爾來之が經營に當り、又我が國人のこゝに至りて各種の事業に従事するもの少からず。

との間を通ずる鐵道に連絡を保てり。是等幹線の外、主なるものに山東鐵道あり、青島より濟南に至りて、津浦線に連絡す。

支那本部は海岸線の出入少く、良港にとぼし。されど北部には青島、南部には香港ありて、河川の下流に臨める天津、上海、廣東等の諸港と共に海上交通の要地をなす。中にも上海・香港は我が横濱・神戸と共に、東部アジャに於ける交通貿易の大中心をなし、香港の如きは貿易額の大なること東洋第一に位す。



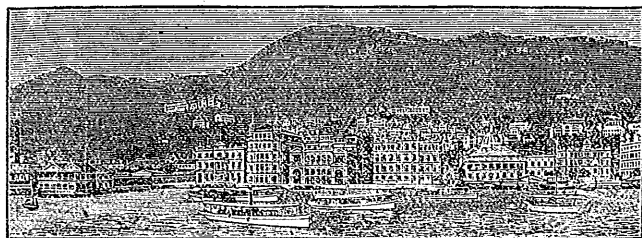
香港

滿洲

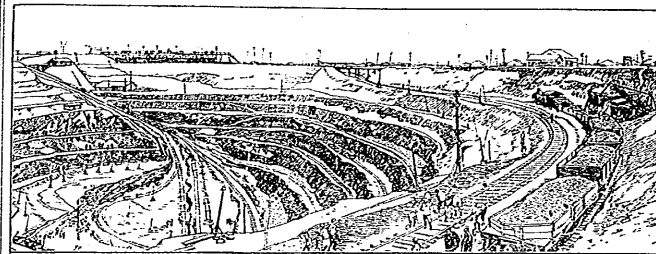
地勢

産業・貿易

滿洲は支那本部の東北にあり。其の面積は我が國より大なれども、人口は一千數百萬に過ぎず。こゝに我が内地人五萬餘、我が朝鮮人二十餘萬在留す。滿洲は東・西北の三方には山地多く、中央部には平野開けり。松花江は此の平野を北に流れて、黑龍江に入り、遼河は南に流れて、渤海灣に注ぐ。氣候は朝鮮に比して寒暑共に強く、平野の南部には高粱・大豆、北部には小麥の耕作行はる。随つて南部にある大連・營口・奉天等



香港



(撫順炭坑) (撫順炭坑)

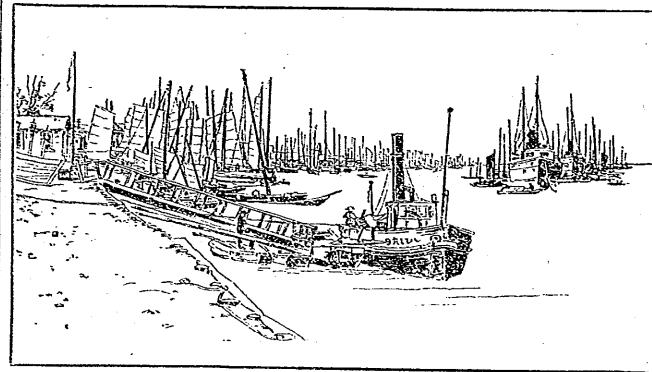
には豆粕・豆油、北部にある哈爾濱には麥粉の製造盛なり。大豆・豆粕・豆油は滿洲の主なる輸出品にして、主として大連・營口等より積出され、其の我が國に來る額甚だ多し。
滿洲の東部には所々に大森林あり。其の中、鴨綠江流域の森林よりは盛に木材を伐出して鴨綠江を下す。又原野には馬羊の飼養行はる。
滿洲には鑛產地多く、中にも奉天の東方にある撫順には、我が國の採掘

せる大炭坑あり。又其の西南にある本溪湖の炭坑を始め、我が國人の關係せる鑛山少からず。海岸の各地にては塩を製し、又近海には漁業行はる。
我が南滿洲鐵道の本線は大連を起點とし、奉天にて支線の安奉線及び支那の京奉線と會し、長春に至りてロシヤの東支鐵道と連絡す。東支鐵道は長春より哈爾濱に至りて、浦潮斯德より來るものと會し、西北に進みてシベリヤの鐵道幹線に連る。南滿洲鐵道の支線には安奉線の外にも數線あり。此の本線及び支線に沿ひては都邑多く、我が内地人の在留せるもの亦こゝに多し。奉天は滿洲第一の都會にして、交通商業の中心をなし、營

蒙古

我が國と支那との關係

口は安東と共に滿洲の主なる門戸をなす。其の他、長春、哈爾賓も亦主なる都會なり。蒙古は沙漠多き蒙古高原を占め、内蒙古、外蒙古に分る。住民はおほむね水草を逐ひて牧畜に従事し、皮類、羊毛等を主なる産物となす。又蒙古の東部と東南部とには小麥、たうもろこし等の栽培行はる。我が國は古來支那と關係多



遼河の下流

し。明治三十七八年戰役の結果、我が國は關東州を租借し、南滿洲鐵道を收め、近時又南滿洲及び東部内蒙古に諸種の事業をなすの權利をも得たれば、我が國人の此の地方に移住するもの漸く多くして、其の事業も次第に盛なり。尙支那本部に於ても山東省を始め、各地にて鑛業、工業等に我が國人の關係せるもの少からず。彼我が交通貿易は益發達して、彼よりは大豆、豆粕、綿羊毛等を輸入し、我よりは綿絲、銅、石炭、マツチ、水産物を多く輸出す。

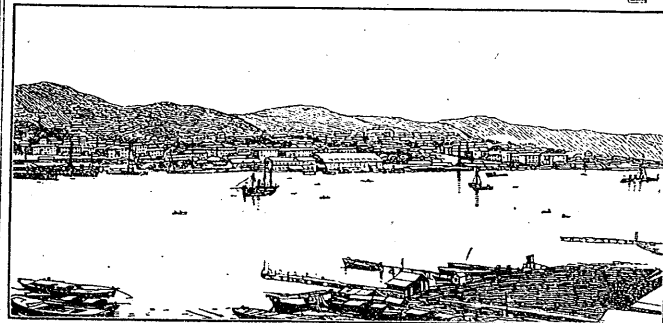
三 シベリヤ

シベリヤは其の面積我が國の約十九倍に當れども、人

地勢・産業

口は我が國の七分の一に過ぎず。地勢南より北に向ひて次第に低く、随つて大河は多く北流す。ひとり黒龍江は東に流れて間宮海峡に注ぐ。南部の山地の中には有名なバイカル湖あり。

シベリヤの中部以南の地には大森林あり、西部には大平野あり。此の平野の南部は地味肥沃にして、氣候割合に温和なれば、こゝには麥の耕作及び牧畜盛にして、都邑



浦潮斯德港

都邑・交通

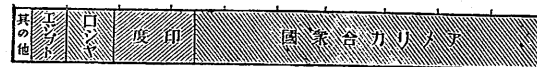
も亦多し。南部の山地は金銀等を産すること少からず。太平洋方面の近海及び沿海の河川は、さげます。たらかに等の水産物多くして、世界に名高き一大漁場をなし、夏季、我が國人のこゝに出漁するもの少からず。

浦潮斯德はシベリヤの門戸にして、軍港と商港とを兼ね、こゝより我が敦賀に定期航路通ず。此の地を起點とするシベリヤの鐵道幹線は、シベリヤ南部の地方を通じて、ヨーロッパの鐵道に連り、又東支鐵道によりて我が國の鐵道に連絡を保ちて、世界交通の幹線をなす。其の沿線にはイルクーツク・オムスク等の都會あり。

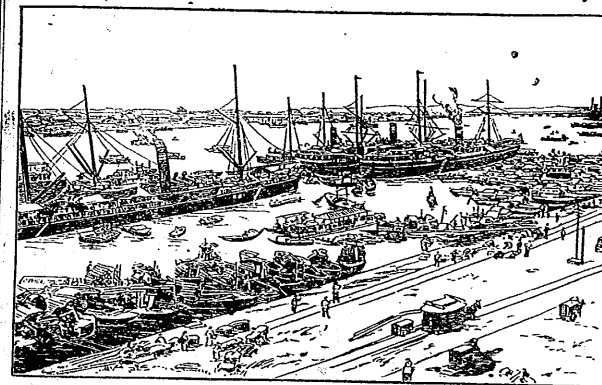
四 印度

産業・都邑

綿の産額比較
世界の綿産額三十億三千万圓内外



印度はイギリスの領土中、主要なる所にして、首府デリーは印度平野の中部にあり。印度の大部は暑さ甚だしく、雨量も多く、農業廣く行はれて米・麥・綿・茶・麻等の産出に富む。又各地に紡績業もおこれり。中にも印度平野は地味肥沃にして、古來印度の主要部たり。カルカッタと



カルカッタ港

ボンペーとは印度の東西の門戸にして、内外數多の交通線に集り、カルカッタにては麻・茶・ボンペーにては綿の輸出多し。セーロン島にあるコロンボは、印度洋の要港にして多く茶を輸出す。我が國の汽船は定期に是等の諸港に交通し、ボンペーよりは盛に綿を輸入す。我が國の綿絲紡績業は主として印度より輸入せる綿を用ひて發達したり。

五 東南アジア

印度支那半島

印度支那半島は山岳多けれども、主なる河川の下流地方には平野あり。氣候暖にして、平野には多く米を産し、ラングーン 英領・バンコク シヤム領・サイゴン 佛領等の諸港より

之を海外に輸出す。其の我が國に來る額亦少からず。
マレー半島はゴムの栽培盛にして、こゝに在留せる我が國人も亦多く之に従事す。此の半島の南端にあるシンガポールは世界交通の關門をなし、各國の船舶しげく出入して貿易頗る盛なり。

マレー諸島

マレー諸島はいづれも山がちにして、中に數多の火山あり。氣候甚だ暖にして、森林に富み、又甘蔗・マニラ麻やし等の栽培よく行はる。中にもジャワ島オランダ領は世界に於ける砂糖の主産地にして、バタビヤより盛に之を輸出す。ボルネオ島は諸島中、最も大にして、スマトラ島と共に石油を産す。フィリピン群島米領にはマニラ麻の產出多

區分

く、主としてマニラより輸出せらる。
マレー諸島には、我が國人の渡航するもの漸く其の數を加へ、又我が國の汽船も近年こゝに航路を開けり。彼我的貿易も亦隨つて次第に發達す。

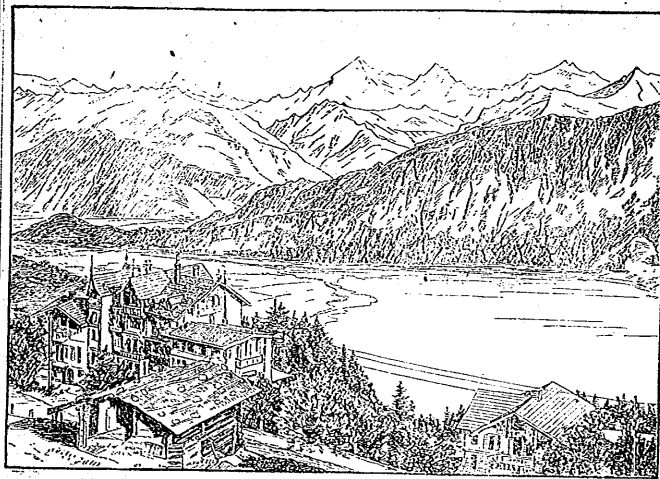
第九 ヨーロッパ洲歐洲

ヨーロッパ洲はアジャ洲の西北に連り、南は地中海をへだててアフリカ洲と相對す。其の面積はアジャ洲の約四分の一に過ぎざれども、人口は四億餘の多きに上る。本洲は大小二十餘國に分れ、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・オーストリア・ハンガリー・イタリア等の如きは、

地勢

世界の主なる國家をなす。是等の多數は面積並びに人口に於て我が國と大差なけれども、其の勢力は他の大陸にのび、全版圖は世界陸地の半を超ゆ。

本洲の南部及び西南部には、アルプ山脈を始め、數多の山脈相連り、又北部のスカンデナヴィヤ半



アルプ山脈の中の高峯

産業
農業



登山鐵道

島にも山地多けれど、其の他はおほむね平地をなす。されば河川は割合に長く、又おほむねゆるやかに流れ、且互に運河によりて相連れるが故に、水運灌漑に便利なり。

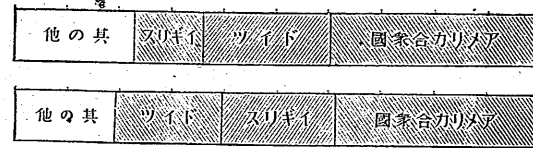
ヨーロッパ洲は他の大陸に比し、やゝ北方にかたよれども、大西洋の暖流の爲に氣候おほむね温和にして、農産物に富む。ロシヤは本洲第一の農業國にして、小麥・麻等の農産物を産し、之を本洲西部の諸國に輸出す。又ドイツには甜菜・馬鈴薯を栽培し、地中海方面のフランス・イ

牧畜・林業・水産

タリヤ等には、葡萄の栽培、養蠶の業行はる。随つて是等の諸國には、砂糖、葡萄酒の製造も盛なり。

牧畜は亦廣く各地に行はれて、馬・牛・羊等の飼養を主とす。ロシヤは馬の頭數最も多く、オランダ・デンマーク・スイス等には、牛を牧してバター・チーズを製し、之を輸出すること少からず。林業はドイツ・オーストリアに最も發達し、又バルプの輸出はスウェーデンを第一とす。大西洋の沿海は一般に水産物に富み、殊にノルウェーの近海はたらにしんく

世界鐵・炭石の(圖上)・(圖下)産額比較



鐵の産額千八百噸 炭石の産額三十億噸

鑛業・工業

ちら等多くして、世界の一大漁場をなす。

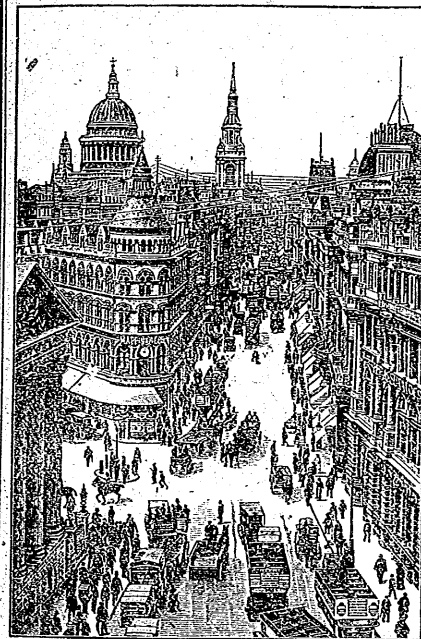
ドイツとイギリスとは、世界に於ける鐵・鑛・石炭の主産地にして、フランス・ベルギー等も亦之を産すること少からず。されば是等の諸國にては鐵・機械の製造大いに發達し、又他の大陸より種々の原料を輸入して盛に其の他の工業をも營めり。工業品の中に、イギリス・ドイツの綿絲・綿織物・機械・毛織物・船艦・化學製品は、其の産額世界にすぐれ、盛に世界各地に輸出せらる。

本洲は産業の進歩と共に交通の便大いに開け、白英獨佛の諸國には鐵道縱横に通ず。其の幹線はロンドン・パリ・ベルリン・逸獨・モスコ等を中心として諸方に通

交通・貿易

じ、又遠くアジア洲にのびて、シベリヤ鐵道などとなる。海岸線は出入甚だ多く、河川の下流亦大船を入るゝに適するを以て、到る所に良港ありて、海上の交通盛なり。

ロンドン・リバプール 英國・ハンプブルグ 獨逸・マルセイユ 佛國等



ロンドンの街市

は、最も著名なる港市にして、こゝより世界の諸港に通ずる航路甚だ多し。イギリスは海運業最も盛

にして、船舶は世界總數の半を有し、世界交通・貿易の中心をなして、其の貿易額は一年に百數十億圓に上る。ドイツ之に次ぎて、亦百億圓に達す。此の他、ベルギー・オランダの小國といへども、貿易額に於て尙遙に我が國に勝れり。

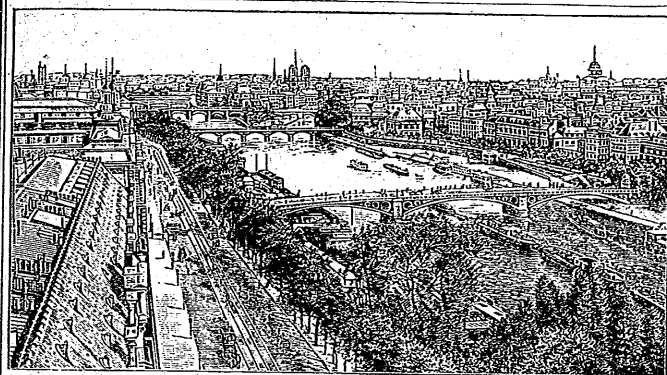
イギリス

イギリスは海外各地に領土を有し、其の全版圖は世界陸地の五分の一を超え、總人口は四億餘に達して、世界最大の國家をなし、又海軍の優勢なるを以て聞ゆ。此の國は商工業最も盛にして、到る所に都市極めて多く、首府ロンドンは實に世界第一の大都會をなせり。

フランスも亦商工業盛にして、絹織物・葡萄酒等を輸出

フランス

ドイツ



市の街

す。首府パリは市街の美麗なること世界に比なく、又美術工藝の盛なるを以て知らる。此の國も亦海外に多く領土を有し、其の全版圖の大なることイギリスに次ぐ。

ドイツは學術の盛なると、軍備のと、のひたるとを以て稱せらる。商工業の發達も亦近時著しくして、ライン河の下流の地方には數多の大工業市あり。首

ロシア

オーストリア、ハンガリー

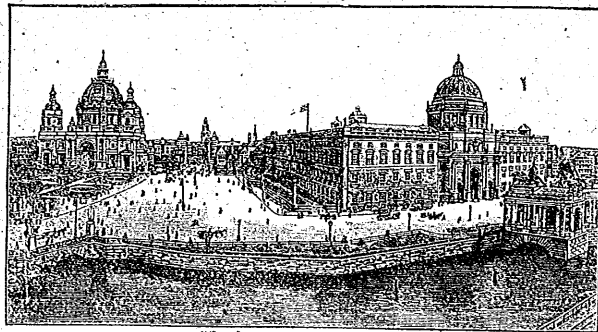
イタリア

府ベルリンは學術の大中心をなせり。

ロシアには廣大なる平地ありて農業最も盛なり。首府ペトログラードはバルチック海に臨み、モスコと共に交通の要地をなす。

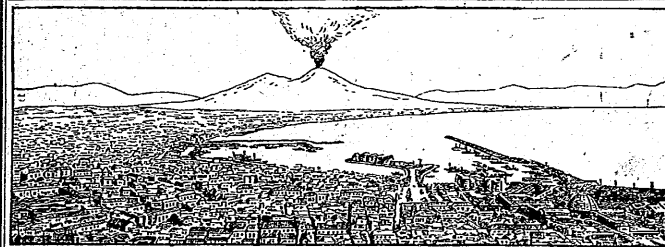
オーストリア、ハンガリーは農業、牧畜主なる産業にして、工業鑛業之に次ぐ。ダニュープ河國內を貫流し、首府ウィーンを始め、ブダペスト等の都會此の河畔にあり。

イタリアは北部の地方殊に開け、



市の街

我が國と歐
洲諸國との
關係



ネーデルラントス港

生絲葡萄酒を産出す。首府ローマには
歴史上の遺蹟多く、ネーブルス港は風
景の美なるを以て名高し。
我が國は歐洲諸國と密接なる關係あ
りて、其の十餘箇國とは條約を結び、殊
にイギリスとは同盟し、ロシヤ・フラン
スとも特別の關係あり。
我が國と歐洲諸國とは交通甚だ便利
にして、我が航路はフランス・イギリス・
ベルギーの主要なる諸港に通ず。貿易
はイギリス・フランスを主なる取引先

として、我が國は銅・生絲・羽二重等を輸出し、イギリスよ
りは多く鐵毛織物・機械等を輸入す。

第十 アフリカ洲

アフリカ洲は面積に於てアジヤ洲に次ぎ、其の殆ど全
部は歐洲の諸國に屬す。

アフリカ洲は北に廣く南に狭くして、一般に高原狀を
なし、山脈はおほむね海岸に沿ひて走れり。此の大陸の
内地には大小の湖水の南北に並べるありて、ナイル河・
コンゴ河等の源をなす。海岸線は出入にとほしく、島嶼
も亦甚だ少し。氣候はおほむね暑く、中部一帯の地には

地勢

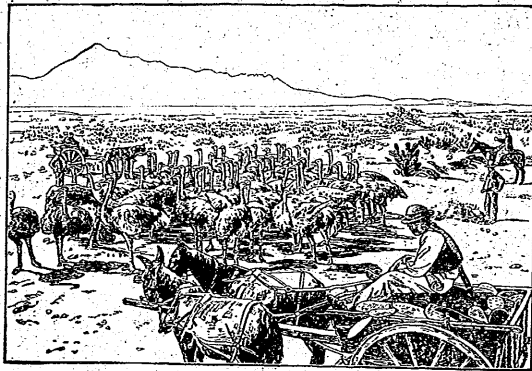
北部

雨多くして樹木密生すれども、南北兩部の内地には雨少くして草原沙漠をなせる所多し。北部にある名高きサハラ沙漠の如きは、其の面積此の大陸の約五分の一を占む。』
ナイル河は夏季其の上流地方に降雨多きを以て、水量此の季に最も多し。此の河は灌溉運輸の便多く、又其の沿岸の平野は河水の運べる沃土によりて地味肥え綿穀物



ロイカと河ルイナ

南部



養飼の鳥駝るけに於に邦聯カリフア南

の栽培に適す。されば此の平野は、古來よく開けて、都邑發達し、北部にあるカイロエジプトの首府は此の大陸第一の大都會をなす。又其の附近には壯大なるピラミッド其の他古代の遺蹟多し。
此の大陸の南部にある英領の南アフリカ聯邦は世界に於ける金、金剛石の主産地にして、又こゝに羊、駝鳥の飼養行はる。南端の喜望峯に近きケープタウンは此の聯邦の門戸をなす。

交通

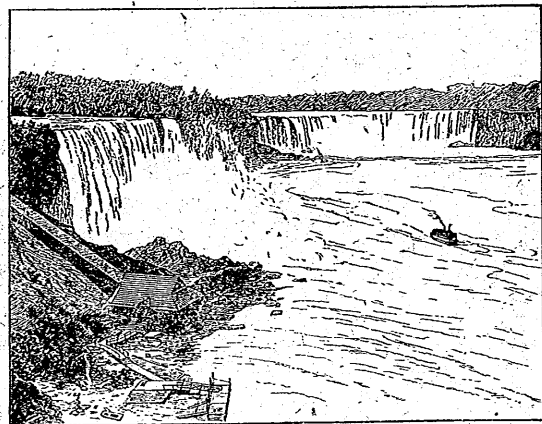
アフリカ洲は地勢・氣候等の關係により内地の交通不便にして、開發甚だ遅かりしが、近來漸次其の歩を進めて交通の便を開き、南北縦貫の鐵道をも完成せんとするに至れり。スエズ地峽に開かれたるスエズ運河は世界交通の幹線に當りて、船舶の往來常に絶えず。

區分

第十一 北アメリカ洲(北米)

北アメリカ洲はほぼ三角形をなし、西北はベーリング海峽をへだててシベリヤに對し、南はパナマ地峽によりて南アメリカ洲に連る。本洲は面積アジヤ洲の二分の一よりやゝ大にして、人口一億を超え、中に英領カナ

地勢

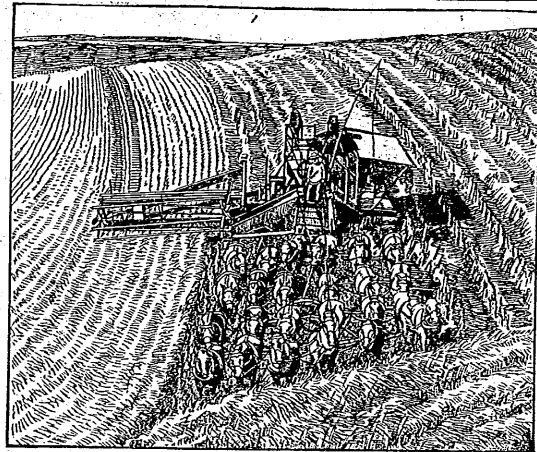


五大湖地方にあつるナイアガラ瀑布

ダ・アメリカ合衆國・メキシコ等の諸國あり。

西部には高峻なるロッキーマウンテンの長く南北に連れるありて、主要なる分水嶺となす。中に火山少からず。東部にも亦南北に連れるアンデス山脈あり、其の高さは大ならず。是等兩山脈の間には廣大なる平野あり、其の南部はおほむねミシシッピ河の流域をなし、北部にはいはゆる五大湖を始とし

産業
農業・牧
畜・林業



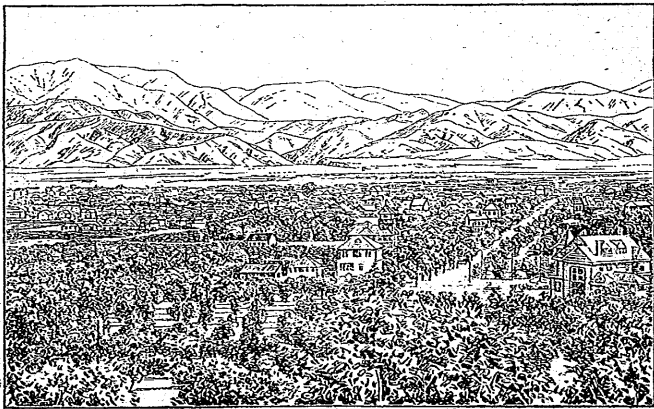
(圖米) 穫收の麥小るけ於に野平大央中

て湖水多し。ミシシッピ河は
 世界第一の長流をなし、五
 大湖と共に汽船の往來し
 げく、又灌漑發電に利用せ
 らるゝこと甚だ大なり。
 アメリカ合衆國とカナダ
 の南部とは、氣候溫和にし
 て、農業牧畜發達し、合衆國
 の平野にては其の發達最
 も著しくして、小麥・綿煙草た
 うもろこしの産額は、いづ
 れも世界第一に位し、牛・豚の
 頭數も亦甚だ多し。又カナ

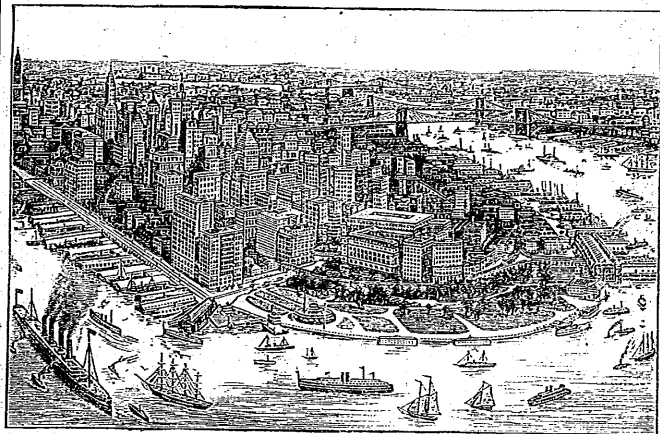
水産業

鑛業・工
業・貿易

ダ及び合衆國の東西兩部に
 は木材の産出多く、合衆國の
 太平洋沿岸には果實を産す。
 西印度諸島のキューバ島は世界
 に於ける砂糖の主産地なり。
 北部の東西の近海には水産
 業盛にして、殊に東部のニュー
 フォンドランド島近海は世界
 の大漁場をなし、たらにしん
 等を産すること多し。
 アパラチヤ山脈及び五大湖



園樹果るゐに岸沿洋平太の國衆合カリメア

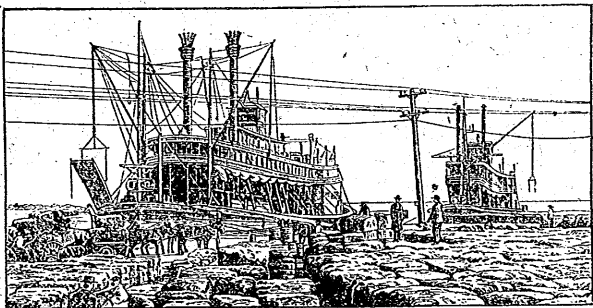


・ 港 ク | ヨ | ニ

沿岸の地方は、ロッキーマウンテンの地方と共に鑛業盛にして、鐵・石炭・石油・銅・金・銀の産額の多きこと世界に比なし。殊に東部は鐵石炭等の主産地たるを以て、諸種の工業大いにおこり、貿易随つて大いに發展し、ニューヨーク・フィラデルフィヤ・合衆國・シカゴ・合衆國等數多の大市場繁榮す。ワシントン・合衆國の首府オ

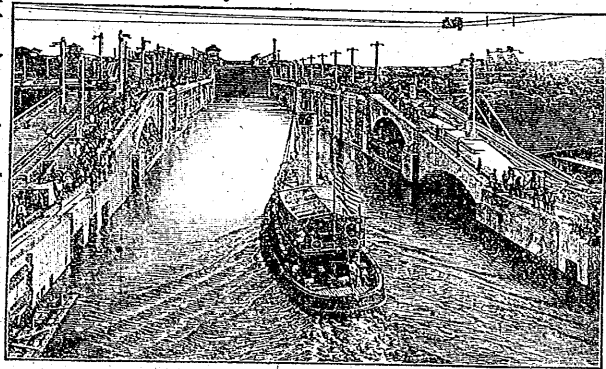
交通

タワカナダ等の都市も亦此の地方にあり。合衆國は貿易最も盛にして年額百數十億圓に上り、しかも輸出額は輸入額より遙に多し。鐵道は東部の地方に最も發達し、又東西兩洋連絡の幹線數多ありて、海外航路と連絡す。合衆國に於ては鐵道の延長最も大にして世界に其の比を見ず。海外航路は大西洋方面より歐洲の諸港に通ずるもの最も多く、又太平洋方面より東洋



し 出 積 の 綿 の 港 ス ヤ リ ル オ | ユ ニ

南洋の諸港に至るものも少からず。港市の主なるものには、大西洋方面に此の大陸第一の門戸たるニューヨークを始とし、ボストン、合衆国・フィラデルフィア並びにニューオルリヤンズ、合衆国等あり。太平洋方面にはバンクーバー、カナダ、シヤトル、合衆国・サンフランシスコ、桑港、合衆国等あり。パナマ地峽を通ずるパナマ運河は近年開通し、スエズ運河と共に世界交通の要路に當れり。



パナマ運河

我が國と北米との關係

我が國も以上の諸港と航路相通して、彼我の貿易益、發達し、又太平洋沿岸の地方には我が國人の在留するもの少からず。合衆國は我が國の主なる取引先にして、我が國に綿石油機械等を輸出し、我が國より生絲羽二重茶等を多く輸入す。

第十二 南アメリカ洲(南米)

區分

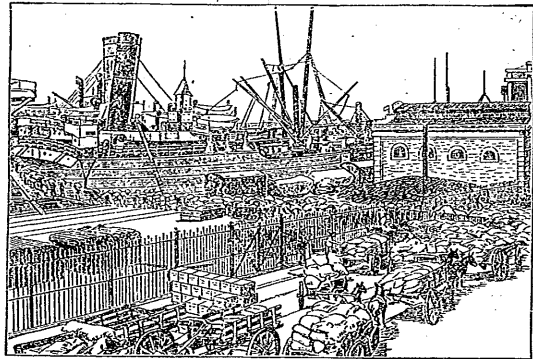
南アメリカ洲はほぼ三角形をなし、其の面積は北米と大差なけれども、總人口に於ては我が國に及ばず。域内の大部は分れて十箇の獨立國となる。

地勢

ロッキー山脈の續なるアンデス山脈は太平洋の海岸に

産業

沿ひ、西部を南北に走りて、此の大陸の大分水嶺をなす。中に火山脈通じ、數多の高峯相望みて、高峻なることヒマラヤ山脈に次ぎ、又所々に高原横たはる。東部にはブラジル山地ありて、高原狀を呈し、其の高さ大ならず。是等東西兩山地の間は一般に土地低くして廣大なる平野をなし、アマゾン・ラプラタの二大河ゆるやかに之を流れて、一は東に向ひ、一は南に向ふ。いづれも水量多ければ、此の大陸の主要なる交通路となり、アマゾン河の如きは河口より三百數十里の間大汽船を通ず。北部の熱帶地方の低地は甚だ暑くして、おほむね雨量多く、アマゾン河の流域には大森林ありてゴムを産す。



サントンス港に於ける積み出し

氣候の温和なる高地及び南部の温帶の低地に於ては、農業牧畜等行はれ、中にもブラジルの南部よりアルゼンチンの中部にかけては、是等の業近時大いに進歩し、隨つて交通の便よく開け、リオデジャネイロのブラジル・サントパウロ、ブラ・ブエノスアイレス、アルゼンチ等の都市益發達す。ブラジルに於てはコーヒーは其の産額世界總産額の半を超え、サントス港より盛に輸出せらる。アルゼンチ

交通・貿易

ンは羊毛・革類・肉類・小麦等を富源とし、ブエノスアイレス港より多く之を輸出す。

アンデス山脈の通ずるペル!

チリ等の諸國には銀・銅を産し、

チリには又硝石を産す。

アルゼンチン・ブラジル等は其

の産物を歐洲に供給すること多く、又歐洲より移民のこゝに來住するもの少からず。されば大西洋方面には海上の交通頻繁にして、數多の港市發達せり。

太平洋方面にはカリヤオ^{ベル}・バルパライソ^チ等の諸港



場市の毛羊のンチンゼルア

ありて我が國と航路相通じ、又ブラジルの南部・ペル等には我が國人の在留するもの少からず。

第十三 大洋洲

區分

オーストラ
リヤ

大洋洲はオーストラリヤ大陸(濠洲)と、太平洋上に散在せる無數の島嶼とより成る。其の大部はイギリスに屬し、其の他も歐米の諸國に屬して、中に一の獨立國なし。オーストラリヤは東海岸地方に山脈の連れる外は、地勢一般に高原狀をなす。内地は雨量極めて少くして沙漠多く、隨つて住民甚だまれなり。されど東南部は氣候温和にして小麦の栽培に適し、牧畜亦極めて盛にして

羊毛の産額の比較
世界羊毛年産額十三億七千九百萬頭内度外

他	其	イギリス	オーストラリア	ニュージーランド	南アフリカ

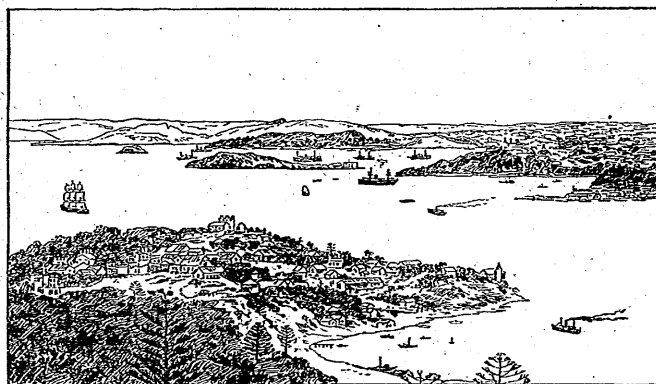
羊毛の産額に於て世界第一に位し、又石炭金を産出すること少からず。西南部の沙漠地方は近來金の産出最も多し。東南部は此の大陸の中、最もよく開けて人口多く、海陸の交通も便利にして、シドニー・メルボル



深洲に於ける牧羊

ン等の大港市發達す。是等の諸港は海外の諸港と航路相通じ、羊毛石炭小麥金等を輸出

諸島



シドニー港

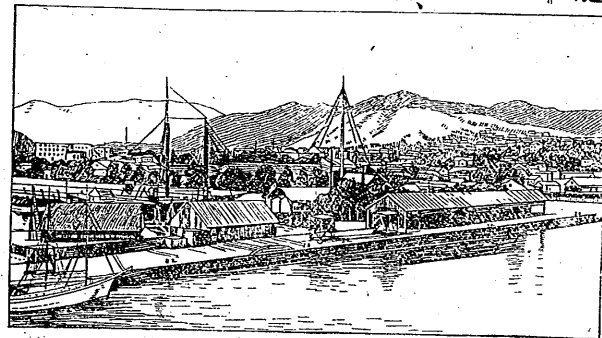
すること多し。

我が國も是等の諸港に定期航路を開き、多く羽二重綿メリヤス等を輸出し、羊毛・鑛物等を輸入す。濠洲の北海岸と西海岸とには、我が國人の眞珠を採集せるものあり。

太平洋の諸島中、ニュージーランドは牧畜盛にして、多く羊毛を輸出す。ミクロネシアはヤシの實を産し、又燐礦を出

ミクロネシアのド
イツ領は主として
バラウ・カロリン・
マーシャルの三諸
島とマリアナ諸島
の大部とより成
り、中に無数の島
嶼ありて太平洋上
に廣く散在す。大
正三年、我が國は
ドイツとの戦争の
結果、是等の諸島
を占領し、爾來主
なる島々には航路
を通じ、又之が開
發につとむ。

す。ハワイ諸島は氣候温暖、地味肥
沃にして、砂糖の產出多く、ホノ
ル港より之を輸出す。我が國人の
此の諸島に在留するもの十萬餘、
多くは甘蔗の栽培に従事す。ホ
ノル港は太平洋交通の要港にし
て、我が國のアメリカ航路の汽船
も多く此の地に寄航す。
太平洋の諸島は一般に面積小さ
く、住民多からず、産業も亦發達せ
ず。されど其の中には軍事上又は交通上の要地として



港 ル ル ノ ホ

注意せらるゝもの少からず。

第十四 世界と日本

六大洲

六大洲の中、アジア洲とヨーロッパ洲とは最も早くより
開けて、強國多く此の中に起り、世界の文明おほむね源
をこゝに發せり。今やアジア洲には我が國及び支那の
外國勢の盛なるものなけれども、ヨーロッパ洲には英佛
獨・露・奧・伊等の強國を始め、文明の發達せる數多の獨立
國ありて、世界の主要部をなす。
南北兩アメリカ洲は、近時開け、中に數多の國々あり。其
の中には國力尙未だ盛ならざるもの多けれども、アメ

リカ合衆國の如きは國勢著しく増進して、世界の強國となれり。

是等歐米の強國は其の勢力盛に他の大陸にのび、其の版圖はすでに世界の大部を占む。大洋洲及びアフリカ洲の如きは、殆ど其の全部を擧げて是等の諸國の領土たるの觀あり。

三大洋

三大洋の中、大西洋は歐米兩洲間の要路に當れるを以て交通最も盛にして、世界商船の過半之を往來す。印度洋は歐亞兩洲連絡の要路に當り、スエズ運河の開通によりて兩洲間の航路大いに短縮せられ、其の交通益盛となれり。而して太平洋は其の沿岸各地の發達に伴な

我が大日本帝國

ひ、航路の發展亦次第に著しく、加ふるに近時パナマ運河の開通してより大西洋との連絡容易となりたるを以て、一層交通の便を感じるに至れり。

我が大日本帝國は東部アジア、太平洋沿岸の要地を占め、天然の恩恵と國民の努力とによりて國運日々に進み、今や世界の強國に列するに至れり。

我が國は世界の二十餘箇國と條約を結び、支那・イギリス・アメリカ合衆國を始として、彼我の交際愈親密にして、交通・貿易年と共に發達す。しかも我が國勢を以て之を歐米の強國に比すれば、尙其の及ばざる所なきにあらず。國民たるもの大いに奮發勉勵せざるべからず。

第十五 地球の表面

地球の大き
緯線

緯線

緯線

地球は球の如き形をなし、南北の直径は凡そ三千二百里、東西の直径は是よりや、大なり。されど其の差は僅に十餘里に過ぎず。

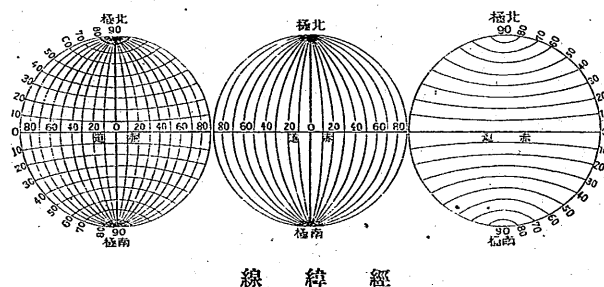
地球の南北の直径を地軸といひ、其の南端を南極、北端を北極といふ。地球の表面に於て是等の兩極を結び付くる半圓周を經線又は子午線と名づけ、極より等距離の地點を連ぬる線を緯線と名づく。緯線の中、兩極より等距離にあるものは特に赤道と呼ぶ。

子午線はイギリスのグリニチ天文臺を通ずるものを

地點の定め
方

零度とし、是より東に東經何度、西に西經何度と數へて各百八十度に至る。緯線は赤道を零度とし、是より南に南緯何度、北に北緯何度と數へ、各極の九十度に至りて終る。

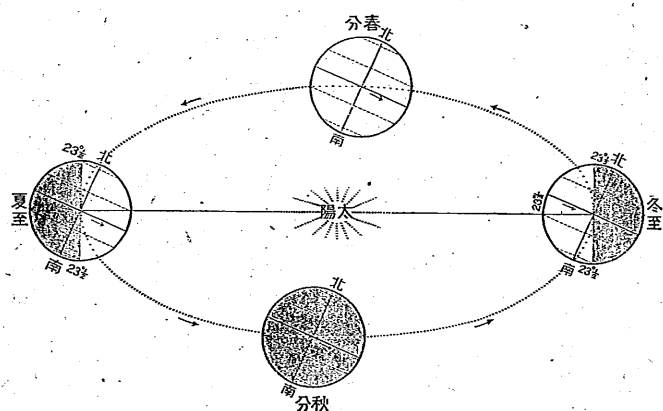
子午線は南北を示し、緯線は東西を表すが故に、地球表面の地點は是等の兩線によりて、明かに示さるべく、又地圖を作るには、是等の兩線を本として之を糸がく。但し球面を其のまゝ、平面に糸がき表すこと難くし



て、經緯線のふがき方には種々あれば、地圖に表る、經緯線の形は必ずしも一樣ならず。随つて圖上の方位・距離・面積等亦同じからず。

地球は地軸を軸とし、左の圖に示せるが如くにかたむきて、西より東に回轉しつゝ、一定の道を通りて太陽の周圍をめぐる。其の一回轉には一日を要し、一周には一年を要す。此の一回轉によりて晝夜の別起り、此の一周によりて四季の別生ず。晝夜及び季節は地球表面到る所、同時に起るものにはあらずして、時間は經度十五度をへだつる毎に一時間の差を生じ、季節は赤道以北の地と以南の地とにて相反す。例へば我が國の晝はイギ

晝夜・四季

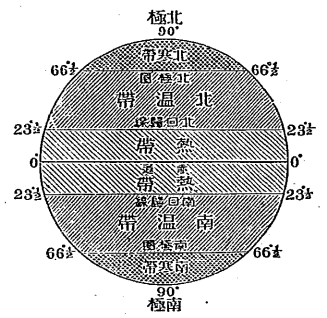


晝夜・四季の表れ方

リスの夜に當り、我が國の夏は濠洲の冬に當るが如し。

赤道附近は太陽概ね直上より照らして、暑氣甚だしければ、之を熱帶といひ、兩極附近は太陽最も斜に照らして、寒氣強ければ、之を寒帶といふ。其の中間にある温帶は、氣候一般に温和にして、

陸地と海洋



氣候帶

戸口最も繁殖し、産業も亦盛なるが故に、世界の主なる國々の殆ど全部は此の内にあり。

地球の表面は高低一樣ならず。其の高き所は陸地となり、低き所は海洋となれり。其の面積に於て海洋と陸地とは、
ほゞ七と三との割合にして、陸地は多く北半球にあり。

尋常小學地理書 卷二 兒童用終

附 錄

一、九州地方

府縣名	府在縣地應	管轄區域	府縣名	府在縣地應	管轄區域
福岡縣	福岡	筑前筑後豐前の一部	鹿兒島縣	鹿兒島	薩隅摩日向豐前の一部
佐賀縣	佐賀	肥前の一部	宮崎縣	宮崎	
長崎縣	長崎	肥前肥後豐前の一部	大分縣	大分	
熊本縣	熊本	肥後	沖繩縣	那覇	琉球

二、臺灣・北海道・樺太・朝鮮の諸地方及び關東州

地方名	行政廳	行政廳所在地	管轄區域
臺灣地方	臺灣總督府	臺北	臺灣島・澎湖諸島
北海道地方	北海道廳	札幌	渡島後志石狩天塩北見釧路根室千島
樺太地方	樺太廳	豊原	樺太島南半部

朝鮮地方
朝鮮總督府
關東都督府
旅順城

慶尙南道
忠清北道
平安北道
咸鏡南道
咸鏡北道
全羅南道
全羅北道
江原道
黃海道
平安南道
公州
春川
海州
平壤

三、條約國

國名	首府	本國全版圖	本國全版圖	人口
支那	北京	六五二萬	六五二萬	三二一萬
亞細亞洲	上海	三四〇萬	一四七萬	一八四萬
露西亞	聖彼得堡	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
瑞典	斯德哥爾摩	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
挪威	奧斯陸	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
丹麥	哥本哈根	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
德國	柏林	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
奧地利	維也納	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
匈牙利	布達佩斯	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
羅馬尼亞	布加勒斯特	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
希臘	雅典	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
土耳其	君士坦丁堡	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
波斯	德黑蘭	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
印度	加爾各答	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
暹羅	曼谷	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
爪哇	巴達維亞	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
菲律賓	馬尼拉	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
西班牙	馬德里	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
葡萄牙	里斯本	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
意大利	羅馬	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
法國	巴黎	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
英國	倫敦	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
美國	華盛頓	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
日本	東京	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
朝鮮	漢城	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
關東	大連	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
旅順	旅順	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬

國名	首府	本國全版圖	本國全版圖	人口
亞細亞洲	上海	三四〇萬	一四七萬	一八四萬
露西亞	聖彼得堡	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
瑞典	斯德哥爾摩	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
挪威	奧斯陸	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
丹麥	哥本哈根	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
德國	柏林	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
奧地利	維也納	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
匈牙利	布達佩斯	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
羅馬尼亞	布加勒斯特	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
希臘	雅典	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
土耳其	君士坦丁堡	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
波斯	德黑蘭	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
印度	加爾各答	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
暹羅	曼谷	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
爪哇	巴達維亞	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
菲律賓	馬尼拉	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
西班牙	馬德里	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
葡萄牙	里斯本	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
意大利	羅馬	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
法國	巴黎	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
英國	倫敦	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
美國	華盛頓	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
日本	東京	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
朝鮮	漢城	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
關東	大連	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬
旅順	旅順	二九〇萬	二九〇萬	二六〇萬

K130.21-2-2d

大正八年二月十一日印
大正八年二月十四日發行
大正八年二月十五日翻刻
大正八年二月十五日翻刻發行

尋常小學地理書卷三兒童用

定價金九錢
臨時定價金拾五錢

著作權所有

著作兼
發行者

文 部 省

大正八年二月十七日
文部省檢査濟

發 賣 所

東京市日本橋區新右衛門町十一番地
株式會社 國定教科書共同販賣所

翻刻發行
兼印刷者

東京市小石川區久堅町百〇八番地
日本書籍株式會社

代表者 大倉保五郎

印刷所

東京市小石川區久堅町百〇八番地
日本書籍株式會社工場

